

若い世代が住みやすいまちに関するアンケート

集計報告

平成27年10月

序章 調査の概要

(1) 調査の目的

岩倉市では、『多様な縁で創る「役立ち感」に満ちた市民社会をめざして』を基本理念として掲げた第4次岩倉市総合計画に基づいて市政運営を進めています。また、全国的に人口減少や少子高齢化が進んでいる中、本市では、住みやすいまちづくりを進めるための戦略（計画）づくりをスタートさせたところです。

そこで、より一層住みやすいまちづくりを進めていくための基礎資料を得ることを目的に、岩倉市内にお住まいの20～40歳の若い世代の方を対象にアンケートを実施しました。

(2) 調査対象及び調査方法

①調査対象

平成27年7月1日時点で岩倉市に在住している20歳～40歳の市民から無作為抽出した1,463人

②調査方法

郵送配付・郵送回収方式

③調査期間

平成27年7月30日から平成27年8月19日までの期間

(3) アンケート票の配付・回収状況

配付・回収状況は、下表の通りです。

表0-1 配付・回収状況

配付数	有効回収数	有効回収率
1,463	528	36.1 (%)

(4) グラフの見方等

グラフは、原則として単数回答は帯グラフ、複数回答は横棒グラフやダンゴ形のグラフを用いて表現しています。

図中の構成比(%)は、複数回答、単数回答ともに、小数点以下第2位を四捨五入していますので、合計は必ずしも100.0%にはなりません。

一部のグラフにおいては、「不明(回答なし)」は省略してあります。また、設問のカテゴリー(選択肢)などの表現は、一部省略してある場合があります。

第1章 あなたやあなたのご家族などについて

(1) 性別・年齢 (問1)

問1 あなたの性別・年齢をお教えてください。

図1-1-1 「性別」

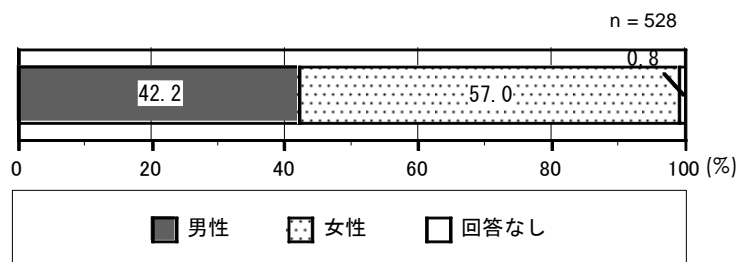
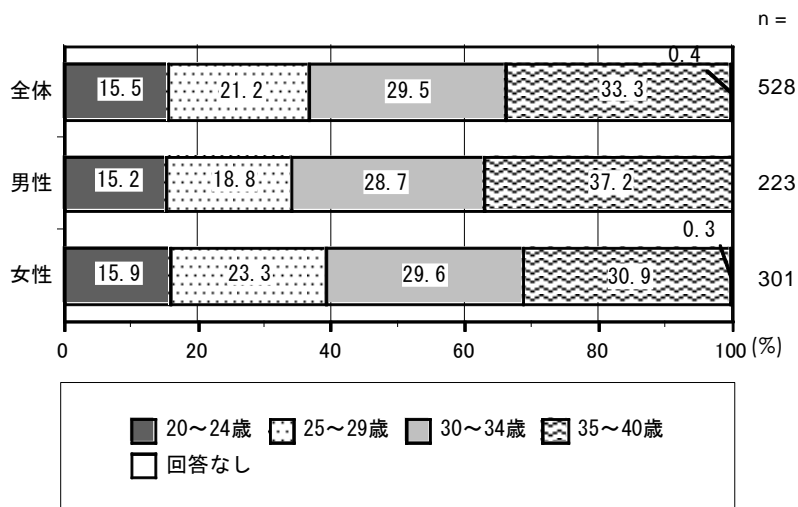


図1-1-2 性別「年齢」

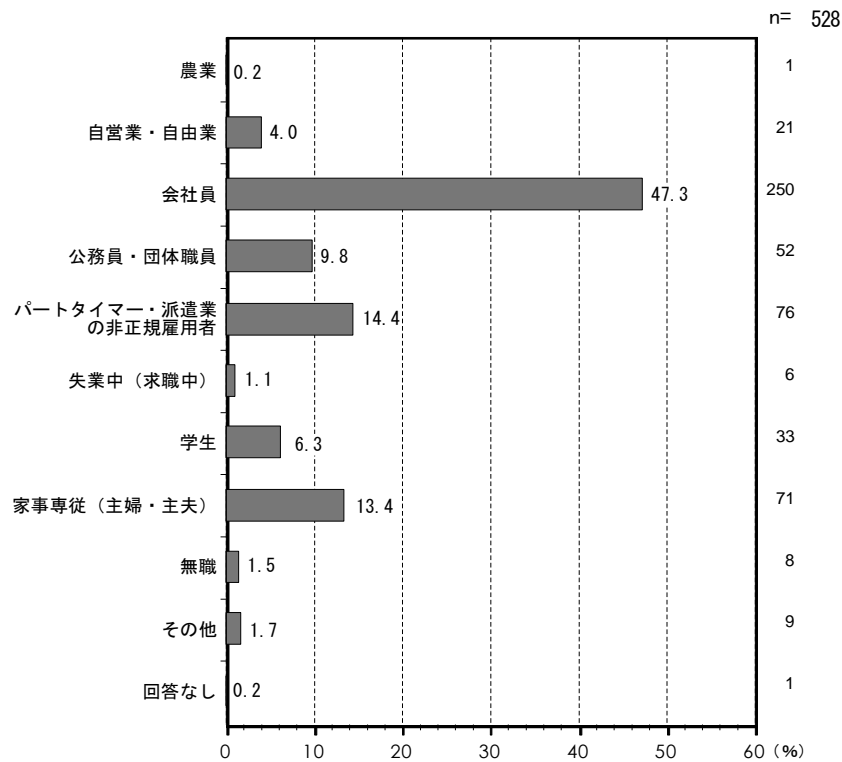


(2) 職業 (問2)

問2 あなたの職業は何ですか。

回答者の職業については、「会社員」が、47.3%を占め最も多くなっています。次いで、「パートタイマー・派遣業の非正規雇用者」(14.4%)や「家事専従(主婦・主夫)」(13.4%)が多くなっています。

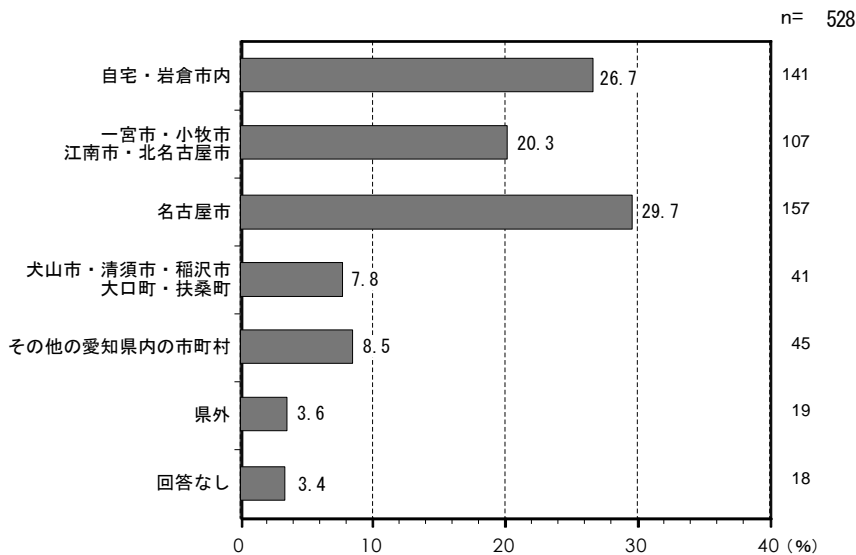
図1-2-1「職業」



(3) 勤務地 (問3)

問3 あなたの勤務地 (働いているところ) 又は通学しているところはどこですか。

図 1-3-1 「勤務地」



(4) 居住地 (校区) (問4)

問4 あなたのお住まいはどの校区にありますか。

図 1-4-1 性別「居住地 (校区)」

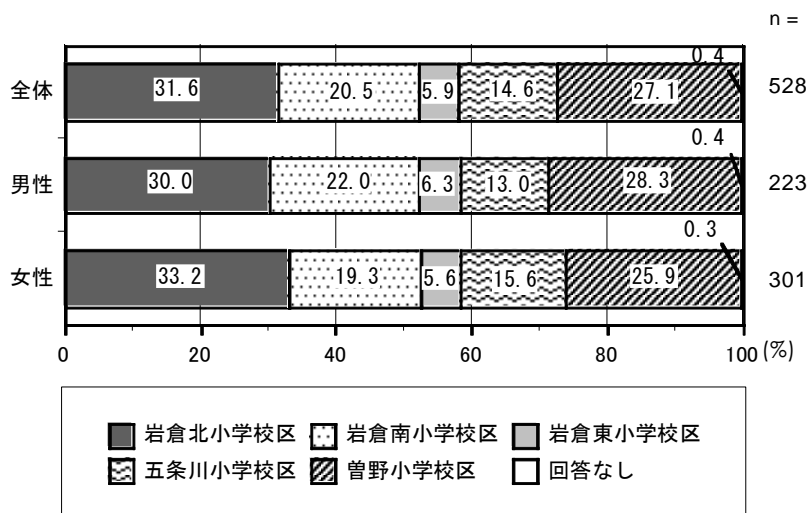
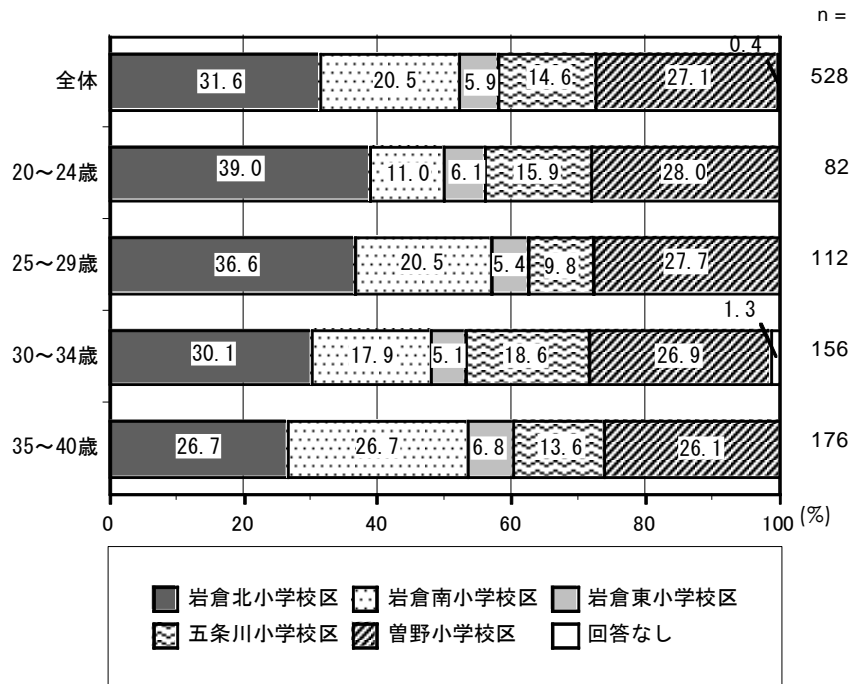


図1-4-2 年齢別「居住地（校区）」



(5) 住宅の種類 (問5)

問5 あなたがお住まいの住宅の種類は、次のうちどれですか。

住宅の種類については、「一戸建ての持ち家（実家・親の家）」(27.3%) が最も多く、次いで、「賃貸アパート・マンション等（建物が3階建以上）」(22.5%)、「一戸建ての持ち家（あなたまたは配偶者の所有）」(22.2%) が多くなっています。

図 1-5-1 年齢別「住宅の種類」

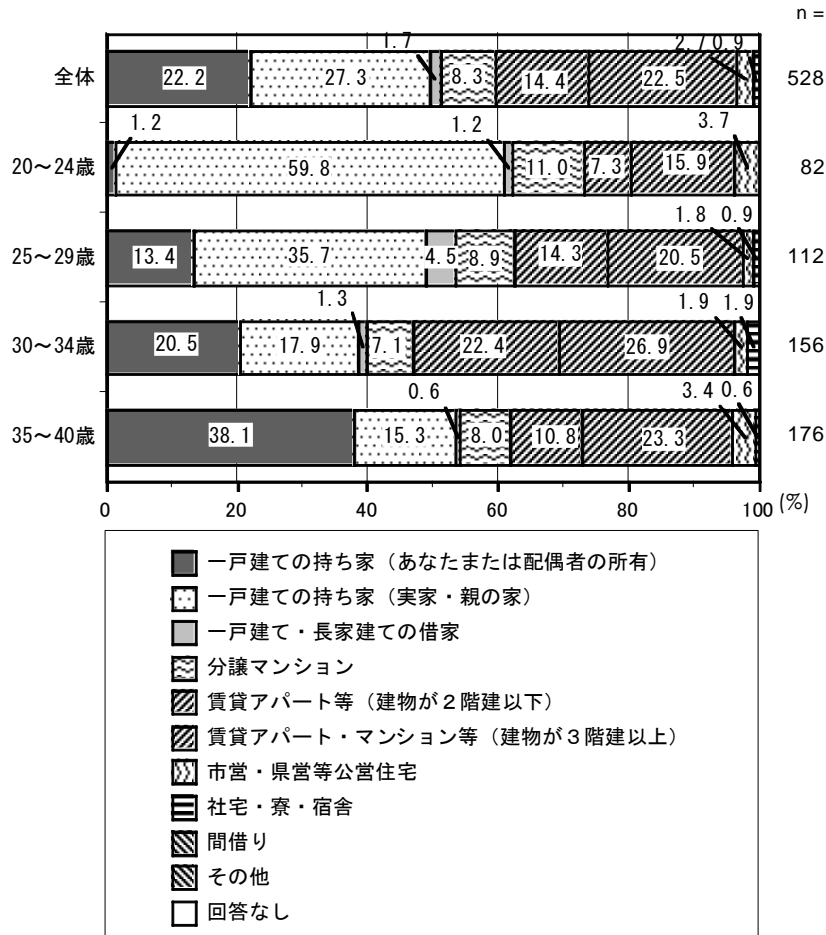
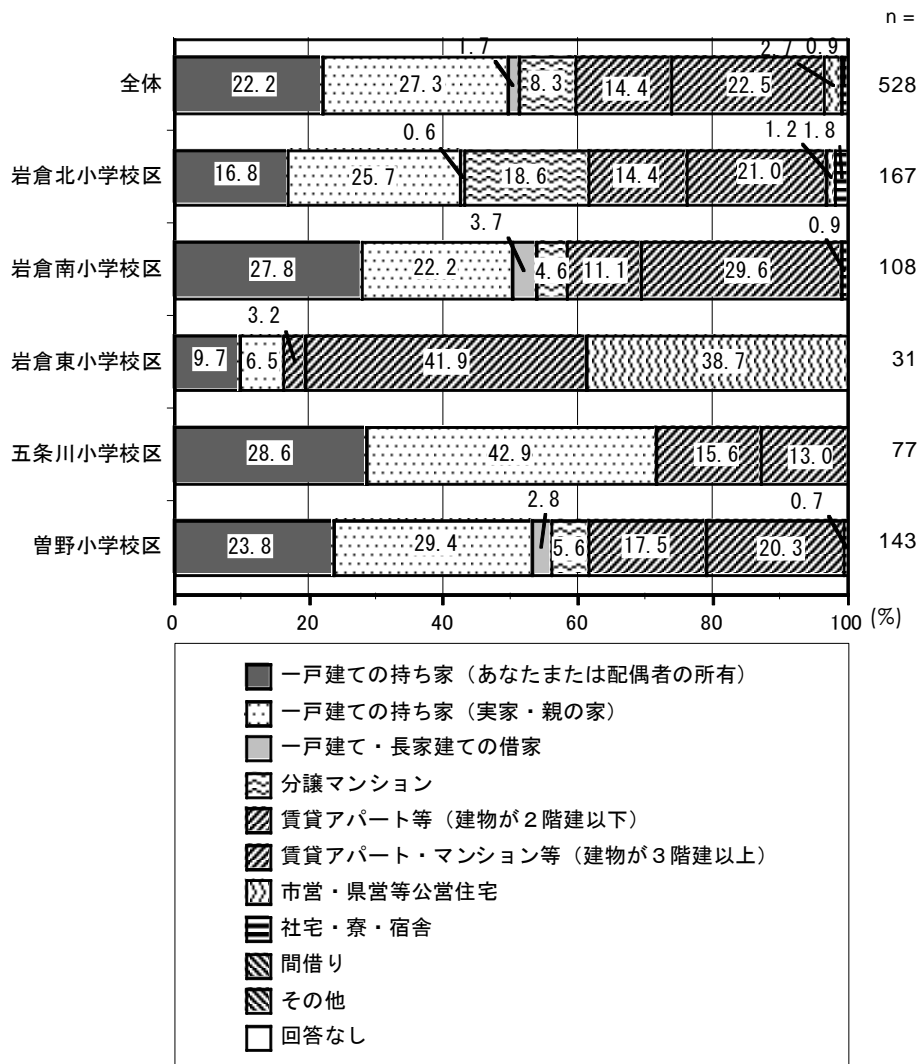


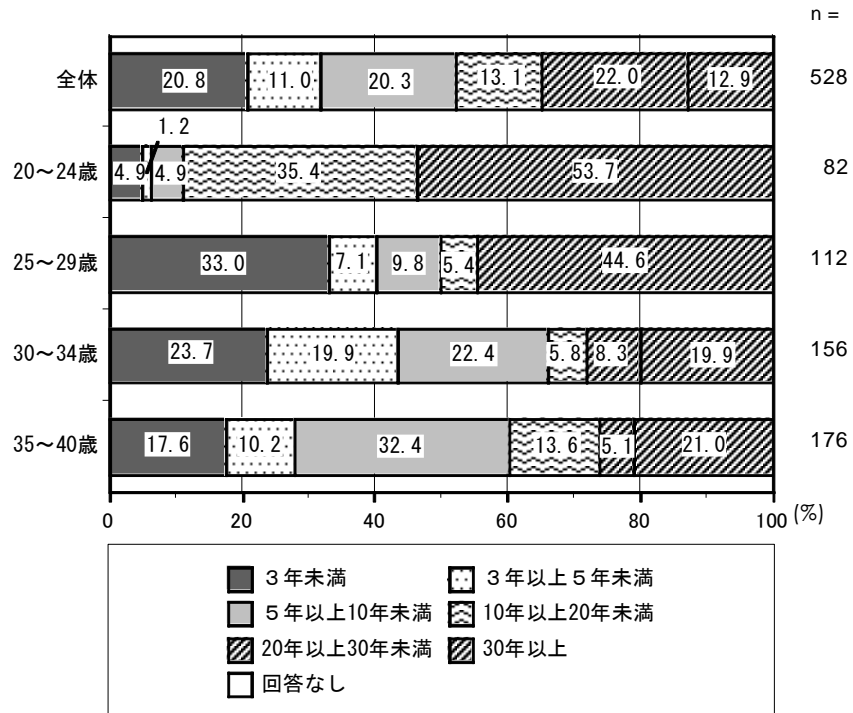
図1-5-2 居住地（校区）別「住宅の種類」



(6) 居住年数 (問6)

問6 あなたは、岩倉市にお住まいになって何年ぐらいになりますか。

図 1-6-1 年齢別「居住年数」



(7) 世帯のタイプ (問7)

問7 あなたの世帯のタイプは次のどれに該当しますか。

回答者の 57.0%が「2世代同居世帯」です。結婚してから夫婦で、あるいは、結婚後子どもが生まれてから親子で岩倉に転入し、その後、岩倉で子どもを産んだり、育てたりするような状況がうかがえる結果になっています。

図1-7-1 年齢別「世帯のタイプ」

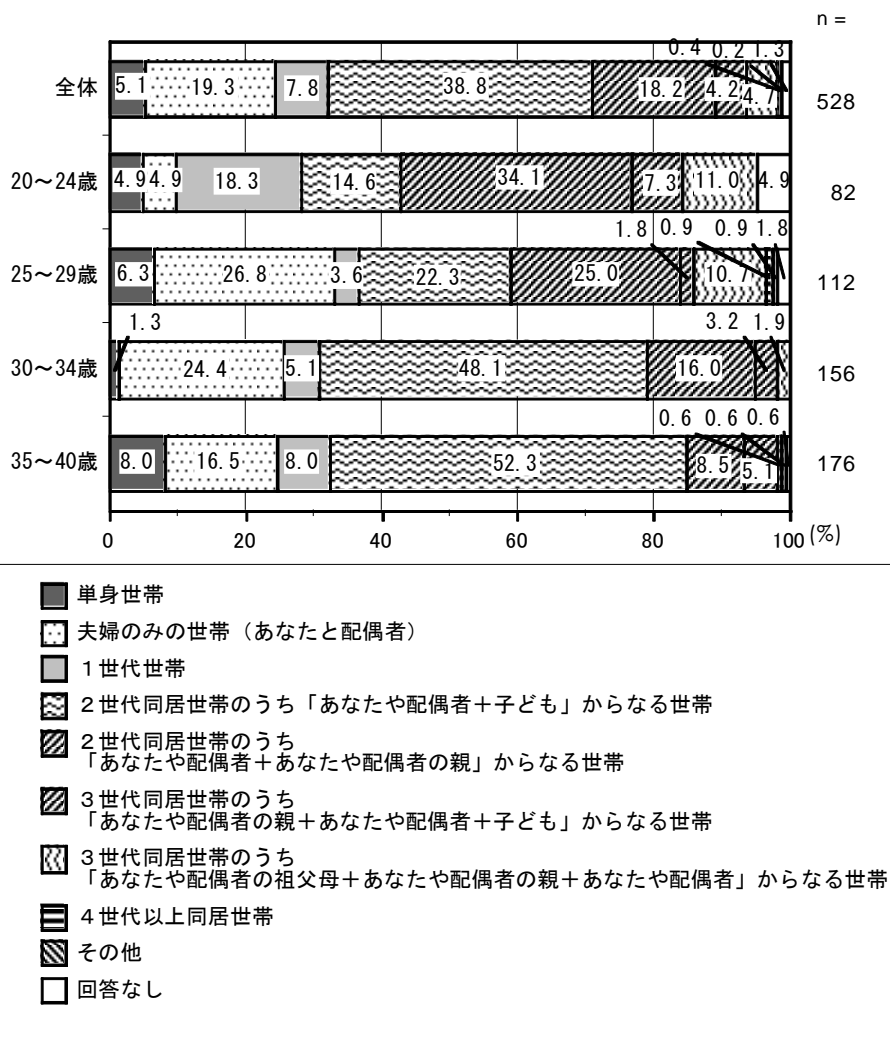
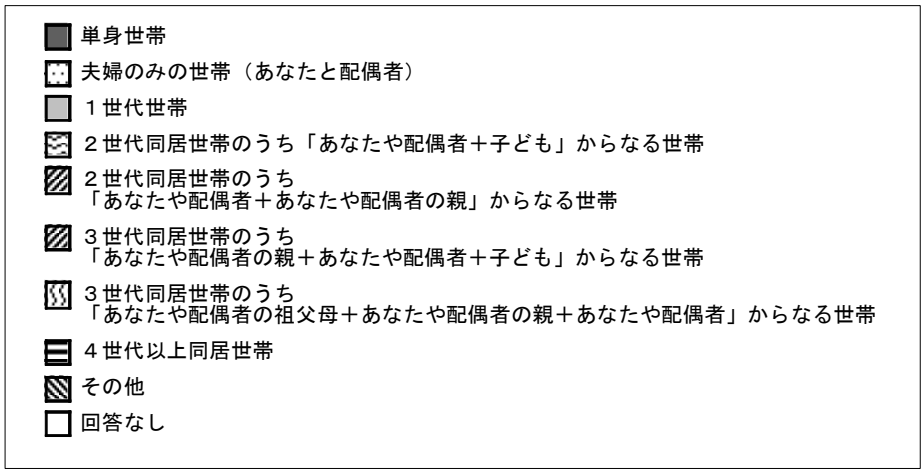
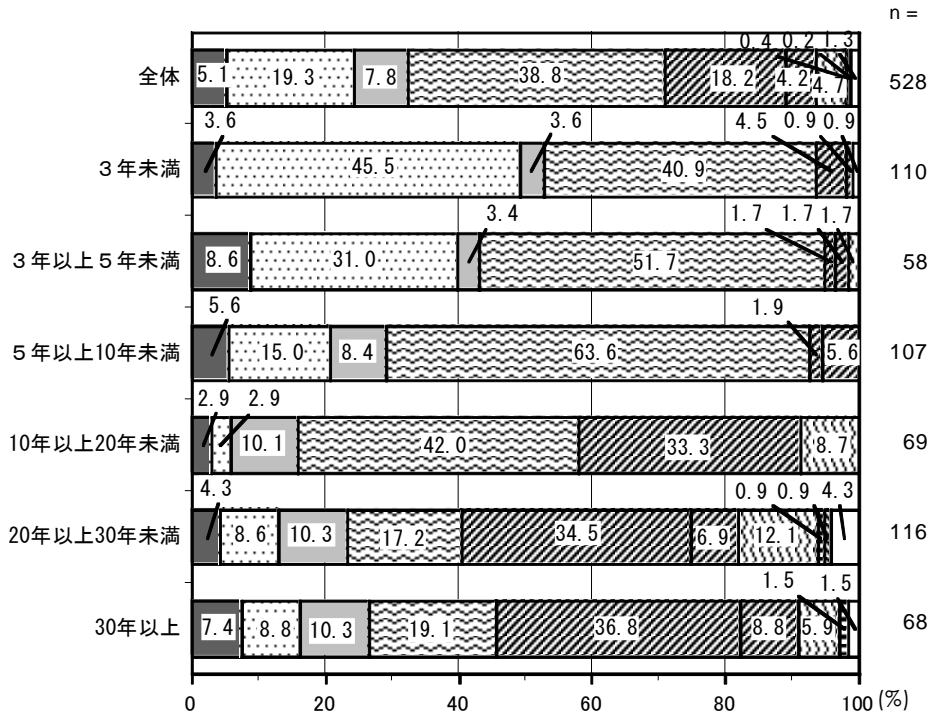


図 1-7-2 居住年数別「世帯のタイプ」

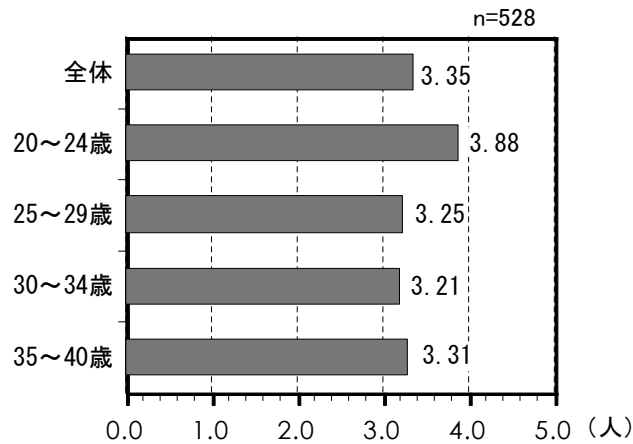


(8) 家族の人数 (問8)

問8 あなたと同居している家族全員の人数は、何人ですか。あなた自身も含めた家族人数をご記入ください。

自分自身も含めた同居家族の人数は、3.35人と、岩倉市全体の平均世帯人員(2.50人)を大きく上回っています。

図1-8-1 年齢別「家族の人数(平均)」



(9) 同居の家族 (問9)

問9 あなたと同居している家族の中には、次のいずれかにあてはまる方はいますか。あなた自身も含めて回答してください。あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。

家族の中で幼児がいる人が多い結果です。特に、30~34歳や35~40歳において多く、35~40歳では、幼児に加えて小学生がいる人の割合も多くなっています。

図1-9-1 「同居の家族」

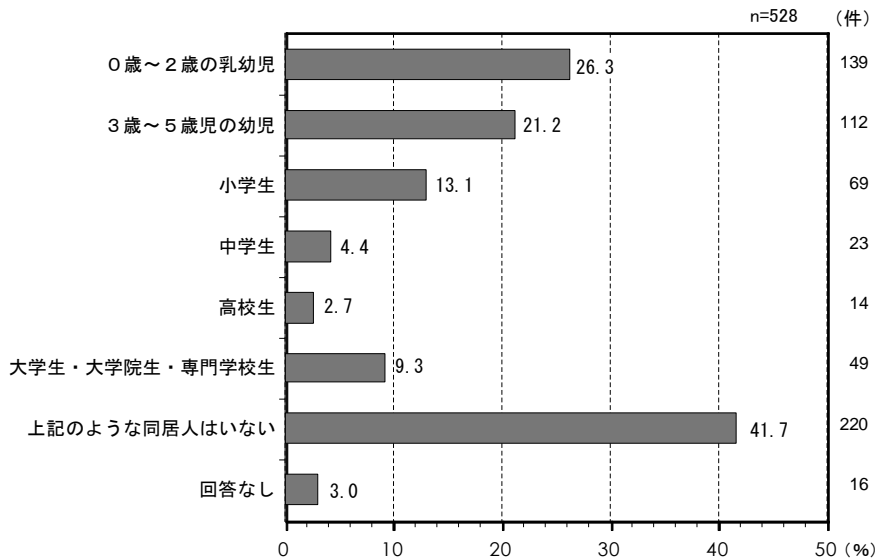
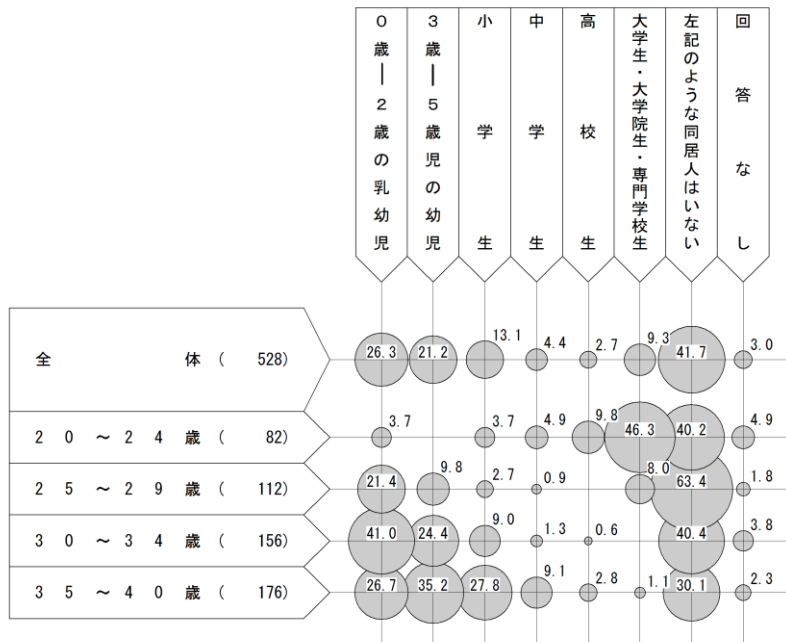
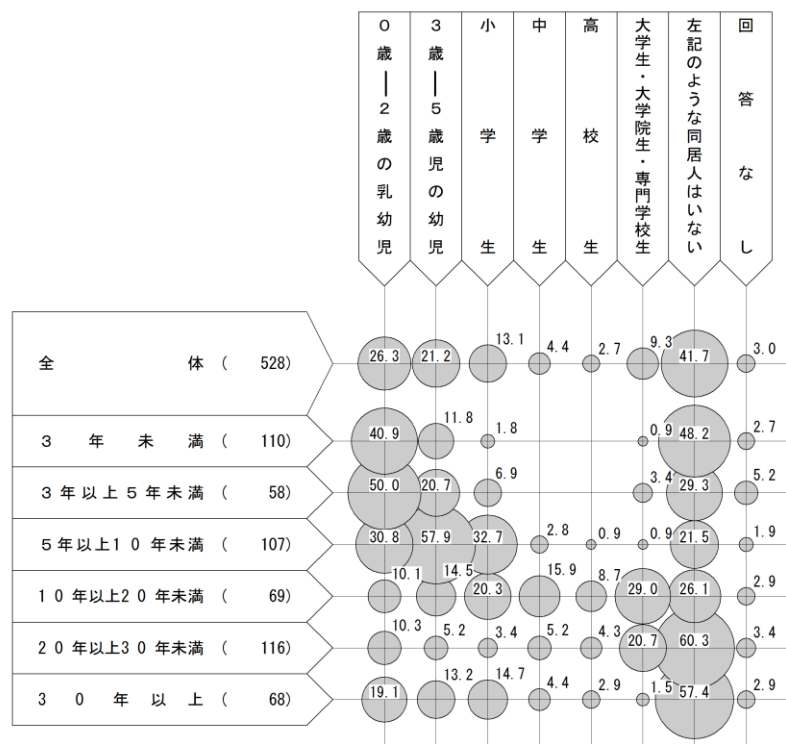


図1-9-2 年齢別「同居の家族」



【参考】図1-9-3 居住年数別「同居の家族」



第2章 結婚について

(1) 結婚の有無 (問10)

問10 あなたは結婚していますか。

既婚者は、60.8%を占めています。20～24歳では、既婚者は、僅か4.9%ですが、年齢が上昇するにしたがって既婚者が多くなる傾向が顕著にみられ、35～40歳では81.3%になっています。

図2-1-1 性別「結婚の有無」

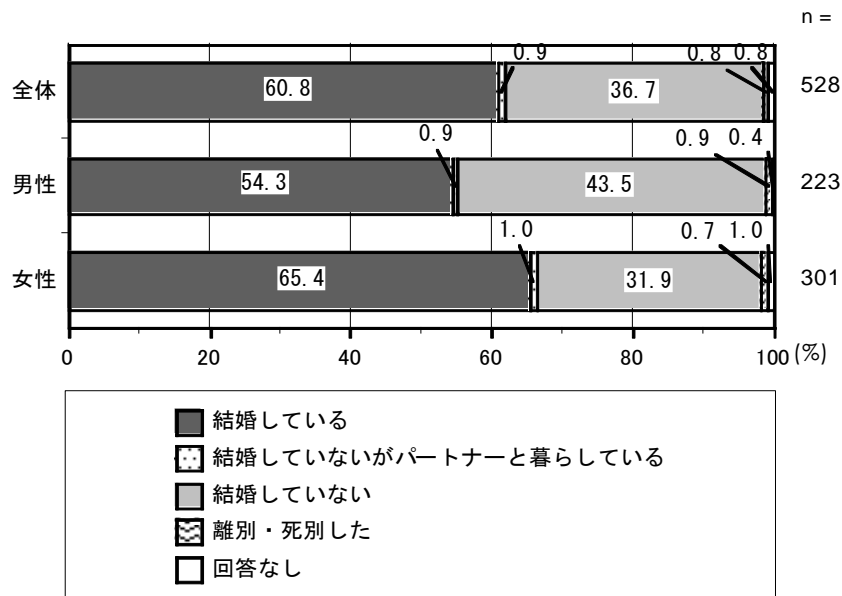
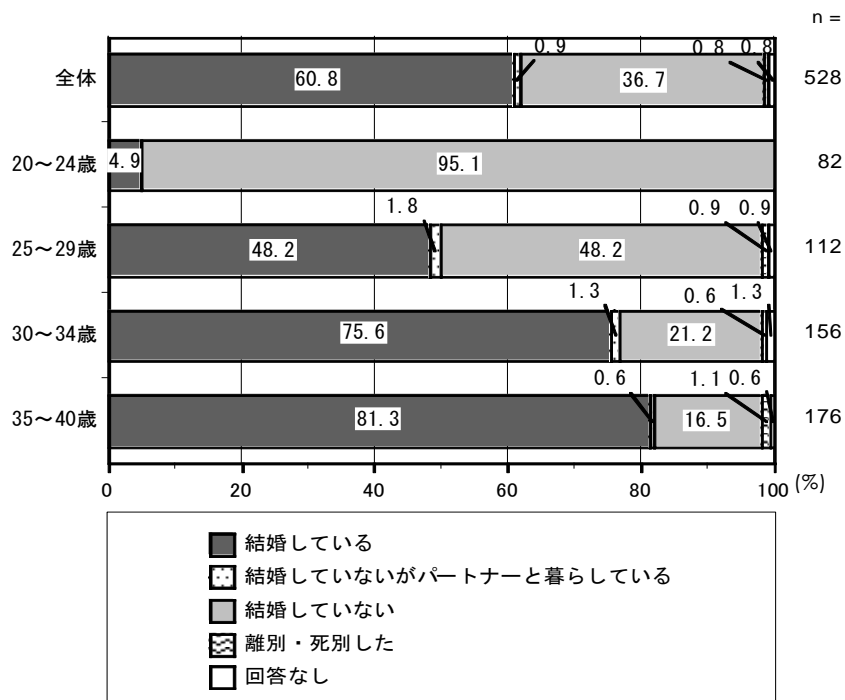


図2-1-2 年齢別「結婚の有無」



(2) 結婚・再婚の意向 (問11)

問11 あなたは、将来、結婚・再婚したいと思いますか。

未婚者のうち、「いずれは結婚・再婚するつもりである」が44.8%と最も多く、「できるだけ早く結婚・再婚したい」(21.2%)や「既に婚約している」(3.0%)と合わせると、69.0%が結婚・再婚の意向を示しています。

図2-2-1 性別「結婚・再婚の意向」

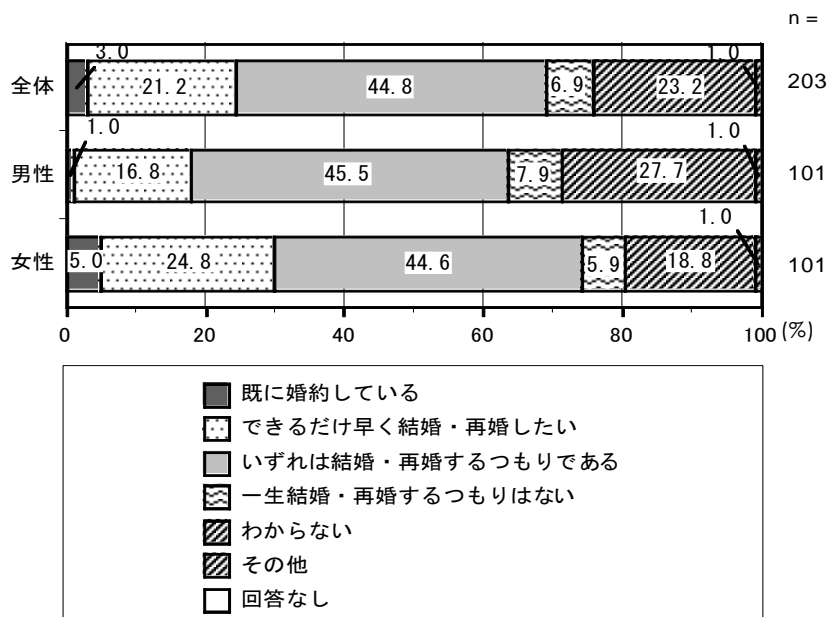
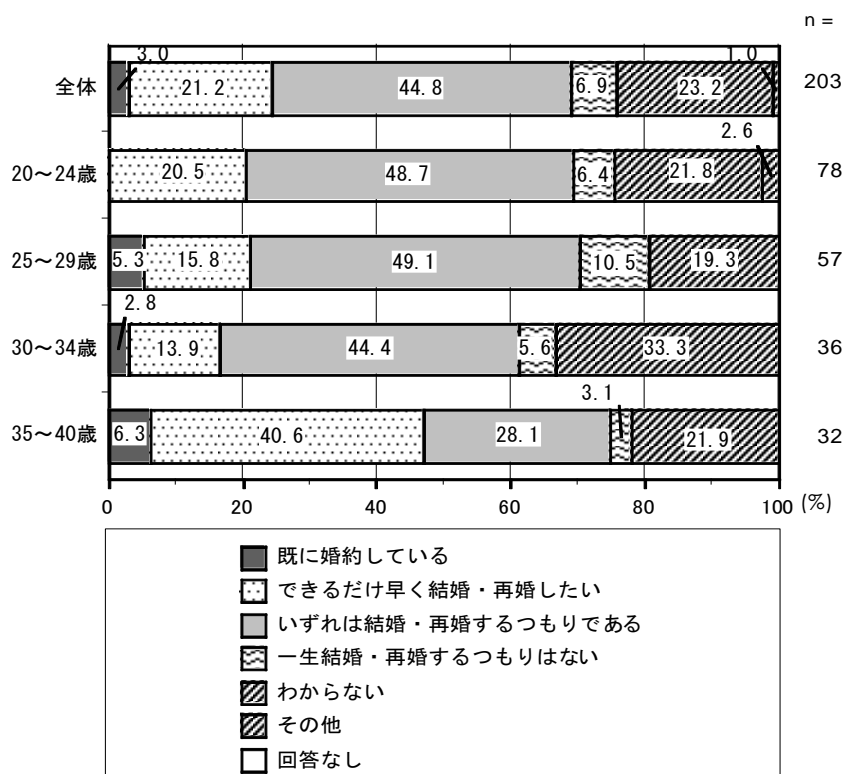


図2-2-2 年齢別「結婚・再婚の意向」



(3) 結婚していない理由 (問12)

問12 あなたが結婚していない理由は何ですか。あなたのお考えに近いものをすべて選んで番号に○印をつけてください。

未婚の理由を尋ねたところ、「適当な相手にめぐり合わないから」(50.7%)が最も多くなっています。2番目は、「自由や気楽さを失いたくないから」(28.1%)、3番目は、「まだ若すぎるから」(22.7%)となっています。

図 2-3-1 「結婚していない理由」

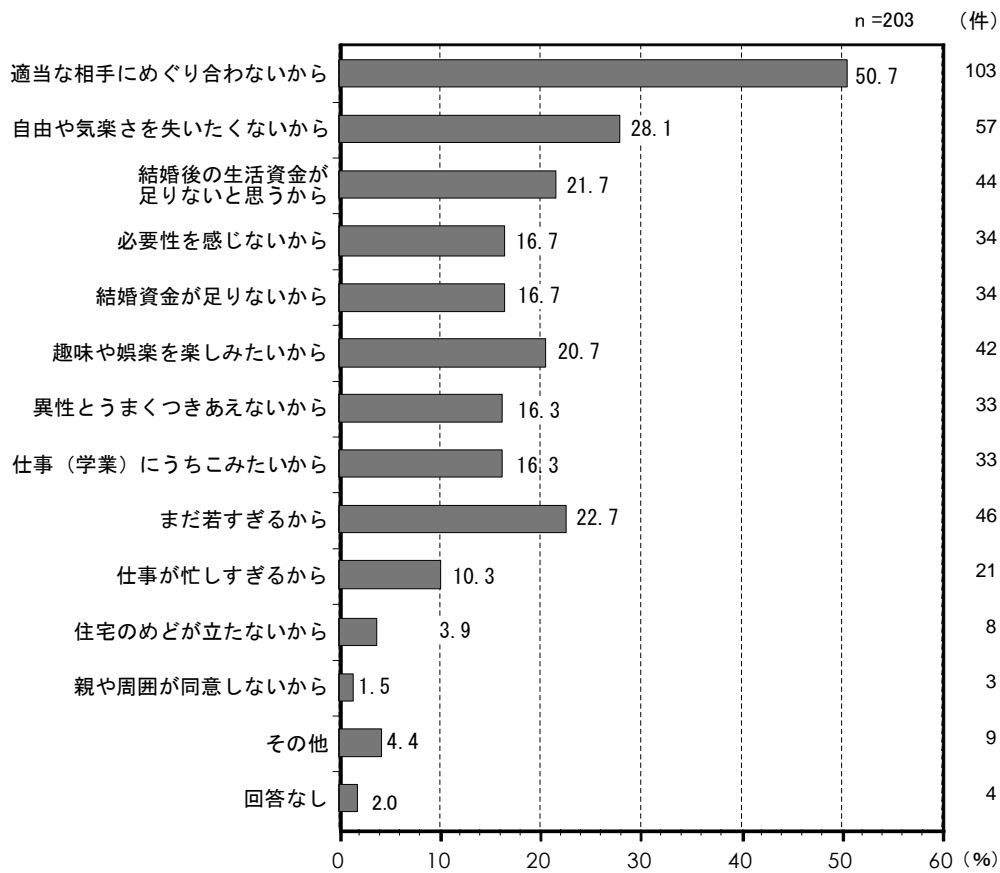


図2-3-2 性別「結婚していない理由」

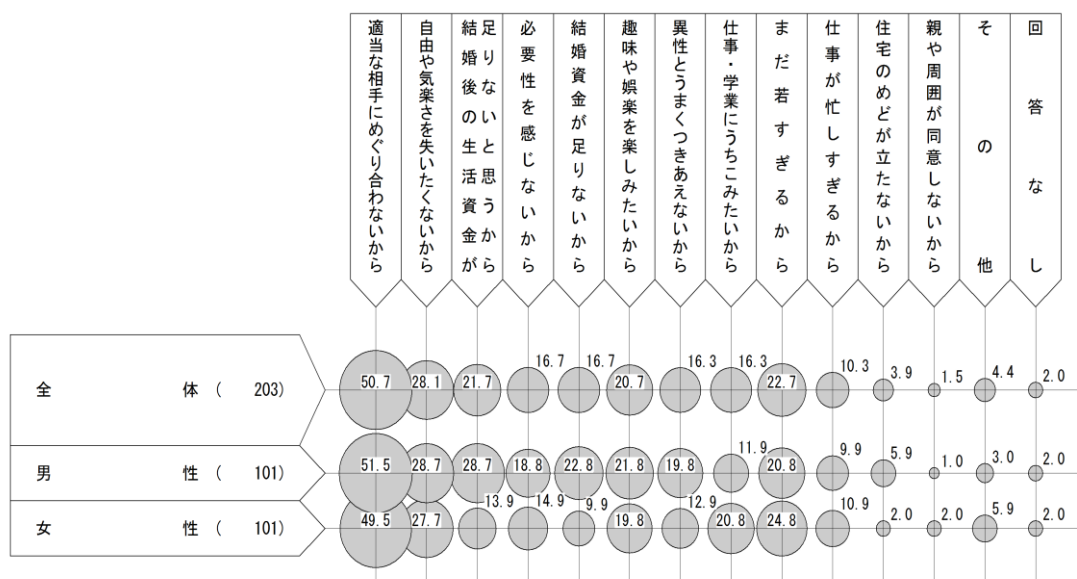
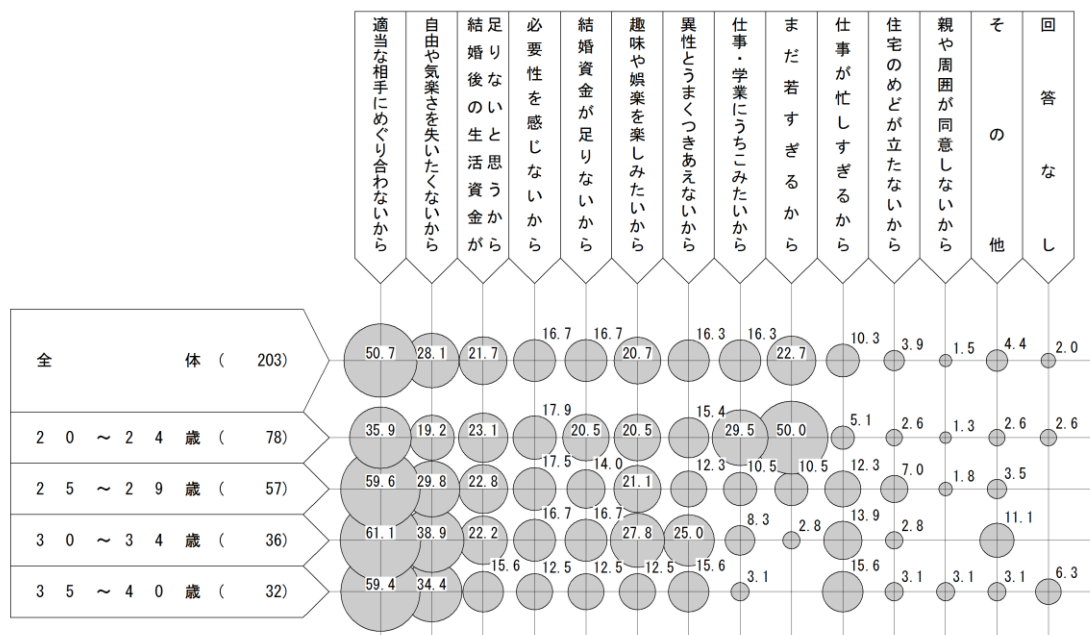


図2-3-3 年齢別「結婚していない理由」



(4) 婚活の有無 (問13)

問13 あなたは、婚活をしていますか。

「できるだけ早く結婚したい」と「いずれは結婚するつもりである」と回答した未婚者のうち、「特に婚活をしていない」という人は76.1%と最も多く、「現在、婚活をしている」(11.2%)や「以前は婚活をしていたが、現在はしていない」(6.0%)という人は、少数派となっています。

図2-4-1 性別「婚活の有無」

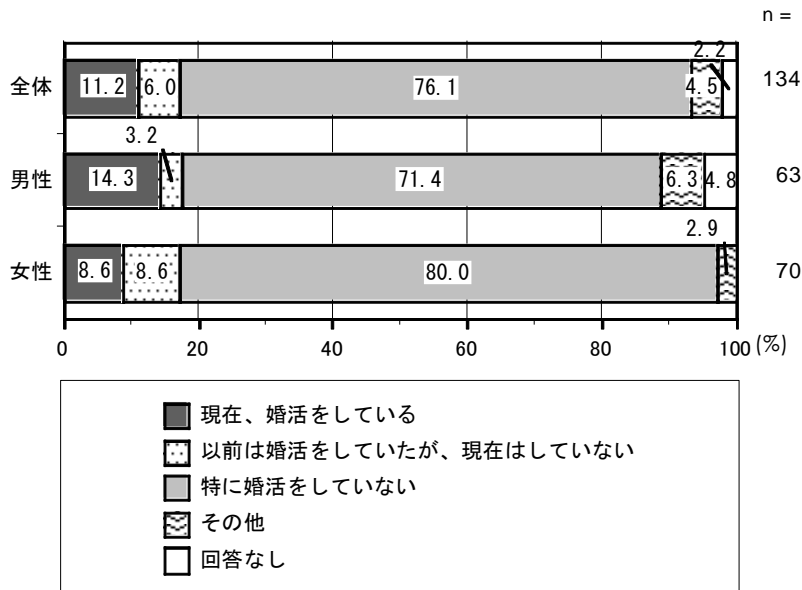
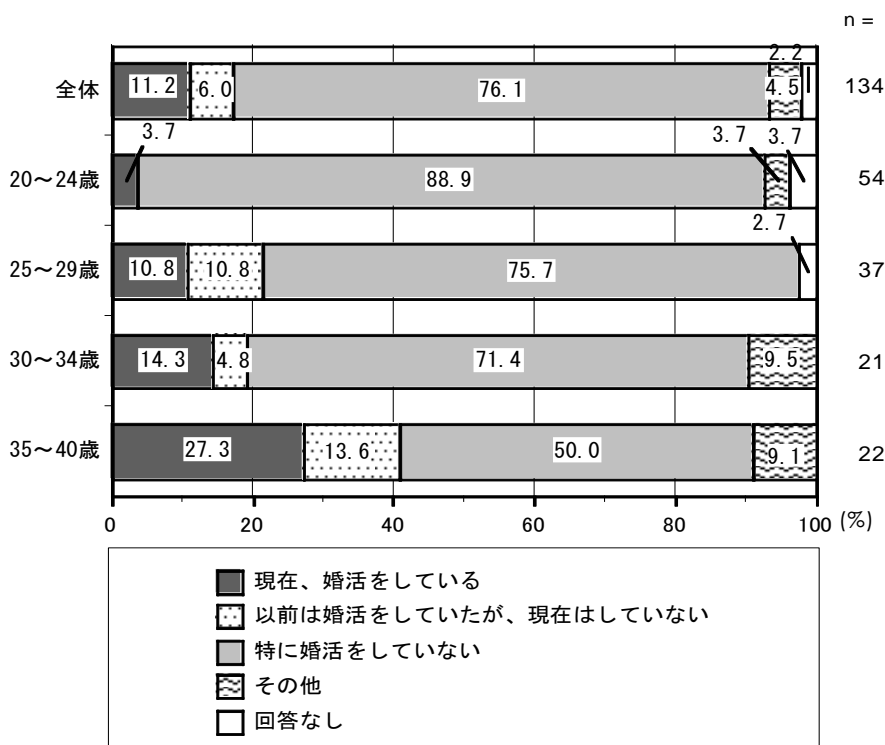


図2-4-2 年齢別「婚活の有無」



(5) 行政による結婚支援 (問 14)

問 14 あなたは、行政による結婚支援として、どのような取組が必要だと思いますか。あてはまるもの3つまで選んで番号に○印をつけてください。

行政による婚活支援としては、「出会いの場づくり・婚活イベント」と「結婚祝い金の支給（結婚資金の補助）」が共に 45.8%と最も多く、また、「新婚用の住宅提供、家賃補助」についても 44.9%と多くなっています。

図 2-5-1 「行政による結婚支援」

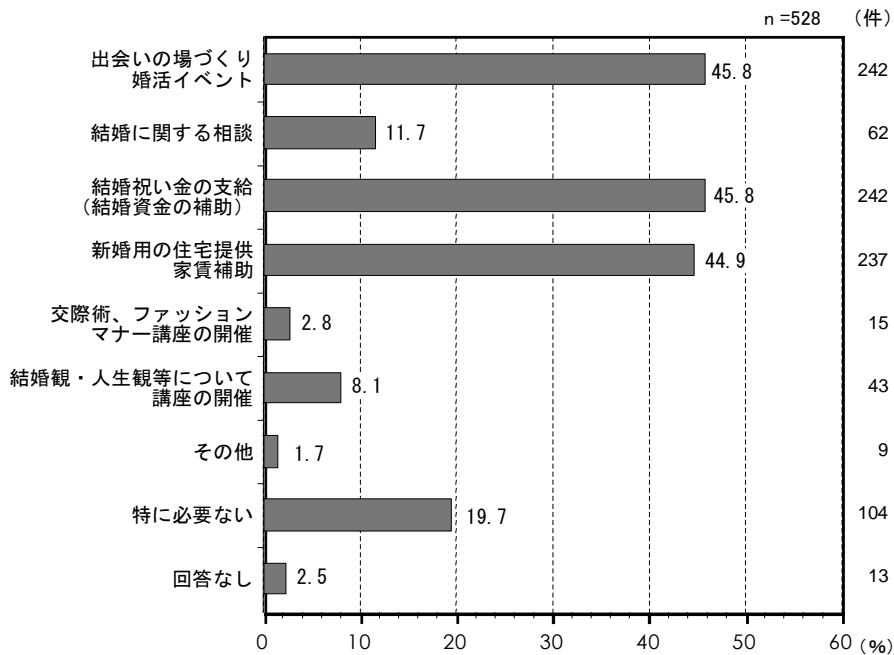


図 2-5-2 性別「行政による結婚支援」

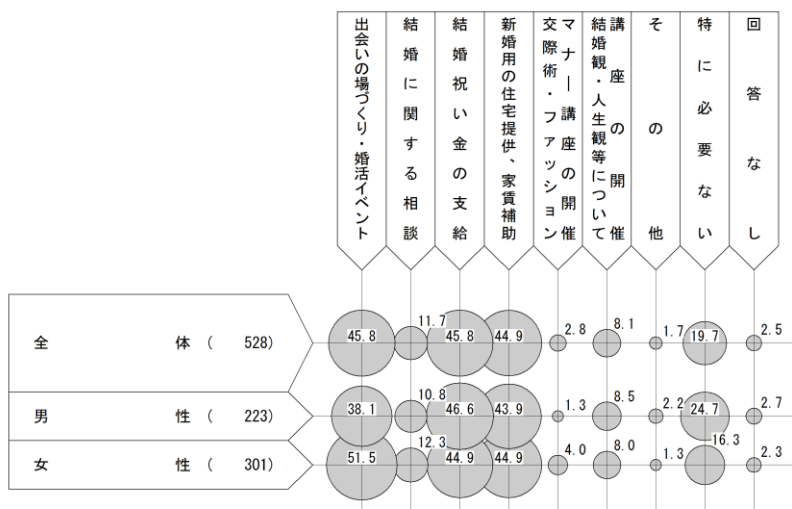


図 2-5-3 年齢別「行政による結婚支援」

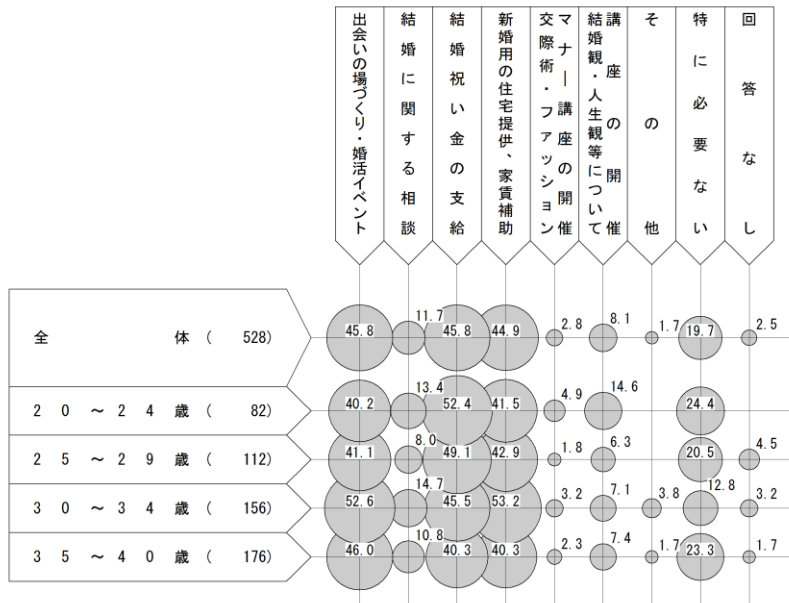
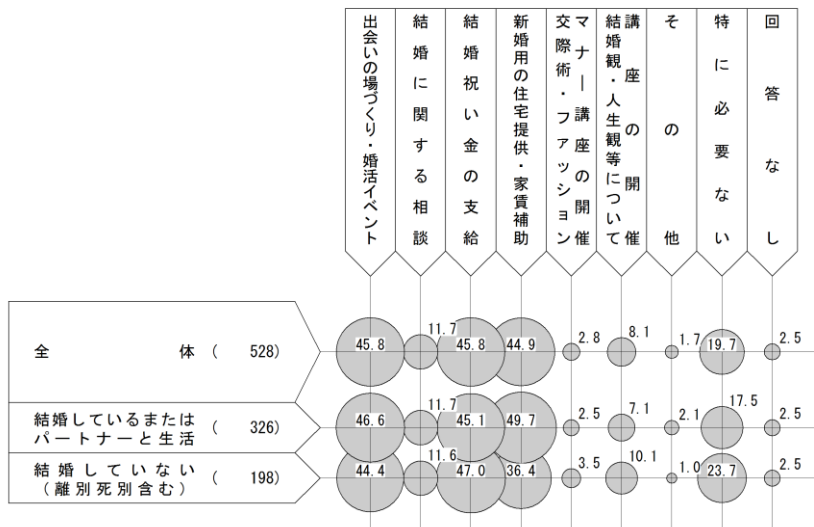


図 2-5-4 既婚・未婚別「行政による結婚支援」



第3章 子ども・子育てについて

(1) 現在の子ども数 (問 15)

問 15 あなたには、現在、お子さんがいますか。お子さんがいる場合は、何人のお子さんがいますか。

「子どもはいない」という人も含めた場合の世帯当たりの子ども数は、0.73 人です。一方、「子どもはいない」という人も除いた場合の世帯当たりの子ども数は、1.59 人となっています。

図 3-1-1 性別「現在の子ども数 (「子どもはいない」含む：平均値)」

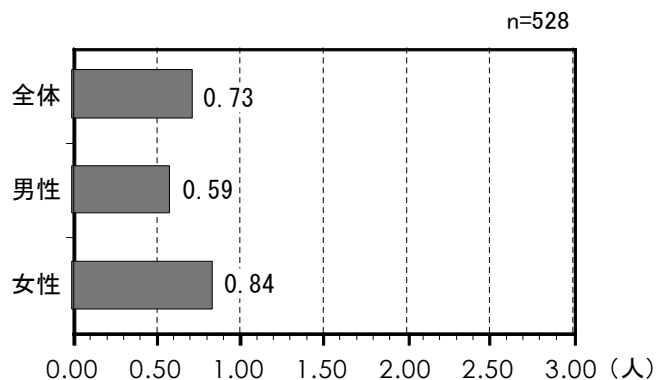


図 3-1-2 性別「現在の子ども数 (「子どもはいない」除く：平均値)」

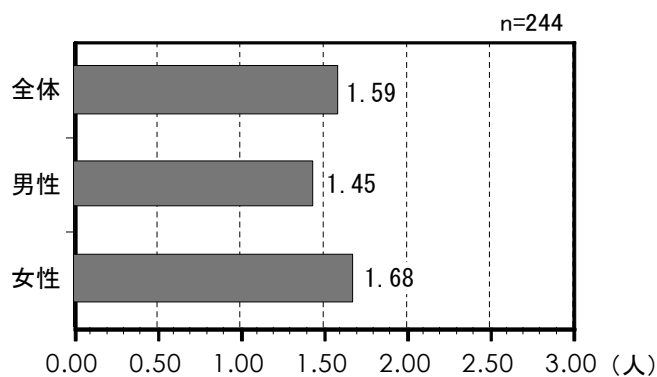


図 3-1-3 年齢別「現在の子ども数（「子どもはいない」含む：平均値）」

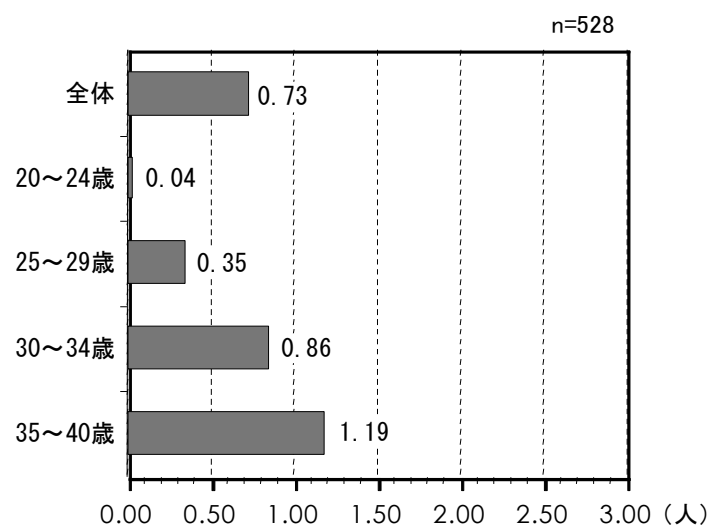
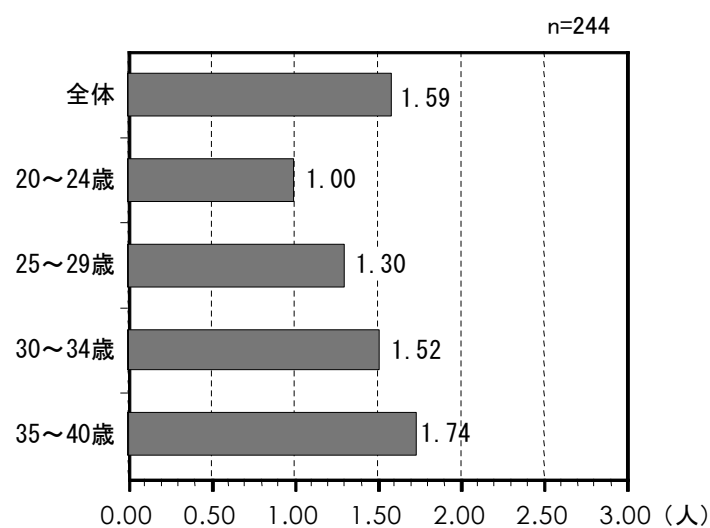


図 3-1-4 年齢別「現在の子ども数（「子どもはいない」除く：平均値）」



(2) 理想的な子ども数 (問16)

問16 あなたが、将来的に何人ぐらい子どもが欲しいと考えていますか。既にお子さんがいるという方は、今いるお子さんの数と合わせて全員で何人のお子さんが欲しいですか。理想的な子ども数をご記入ください。

「子どもが欲しいとは考えていない」という人も含めた場合の世帯当たりの理想子ども数は、2.03人です(図3-2-1)。一方、「子どもが欲しいとは考えていない」という人も除いた場合の世帯当たりの理想子ども数は、2.26人となっています。

図3-2-1 性別「理想の子ども数(「子どもが欲しいとは考えていない」含む: 平均値)」

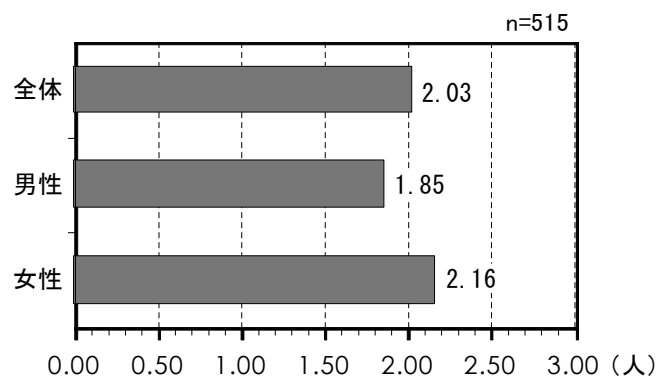


図3-2-2 性別「理想の子ども数(「子どもが欲しいとは考えていない」除く: 平均値)」

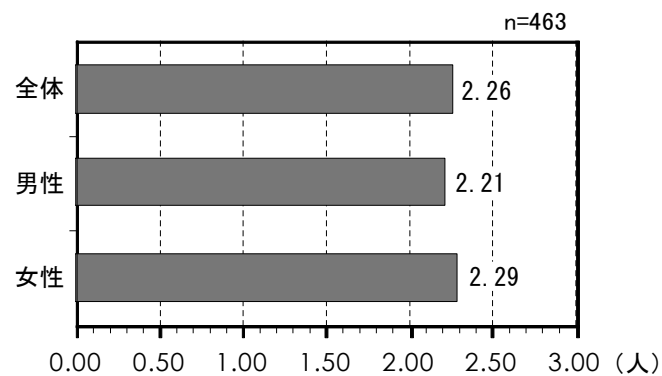


図3-2-3 年齢別「理想の子ども数（「子どもが欲しいとは考えていない」含む：平均値）」

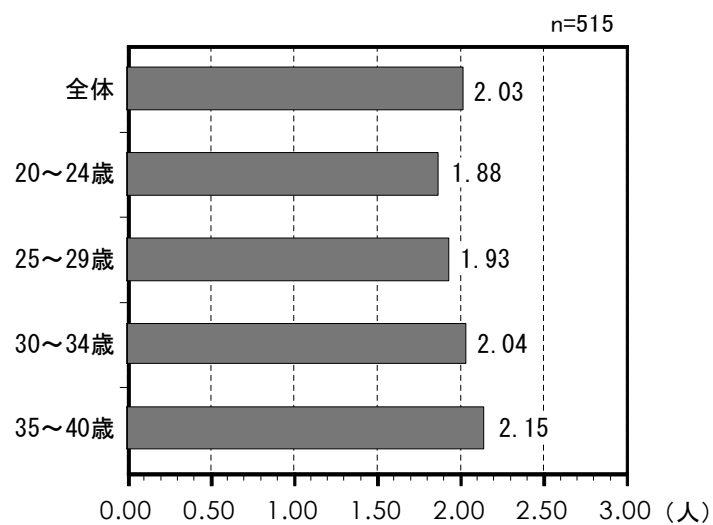


図3-2-4 年齢別「理想の子ども数（「子どもが欲しいとは考えていない」除く：平均値）」

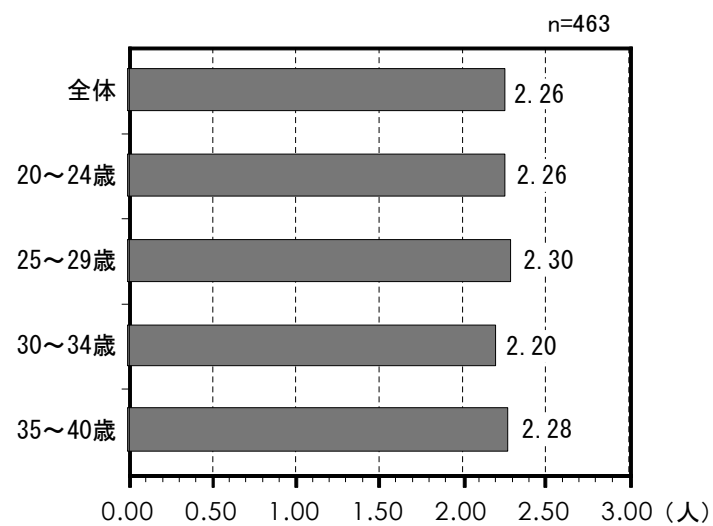


図3-2-5 性別「現状（子どもがいない除く）と理想の子ども数の差（平均値）」

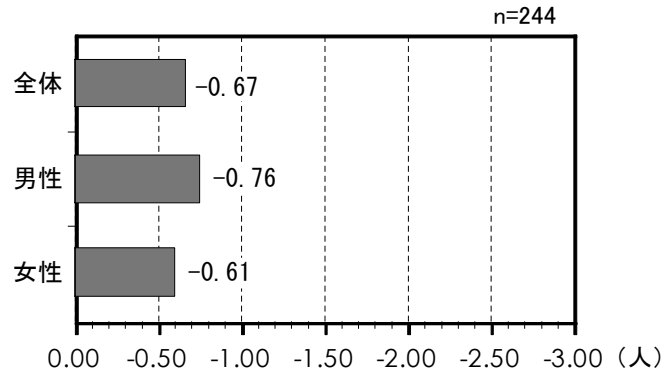


図3-2-6 年齢別「現状（子どもがいない除く）と理想の子ども数の差（平均値）」

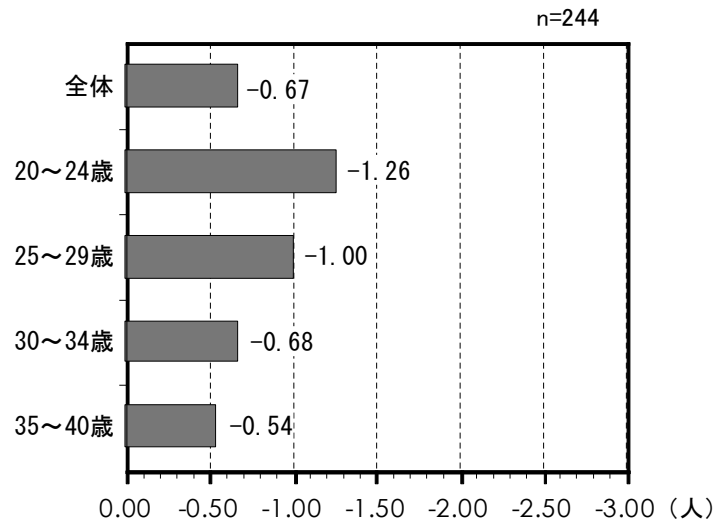


図3-2-7 性別「問15・問16カテゴリ統合」

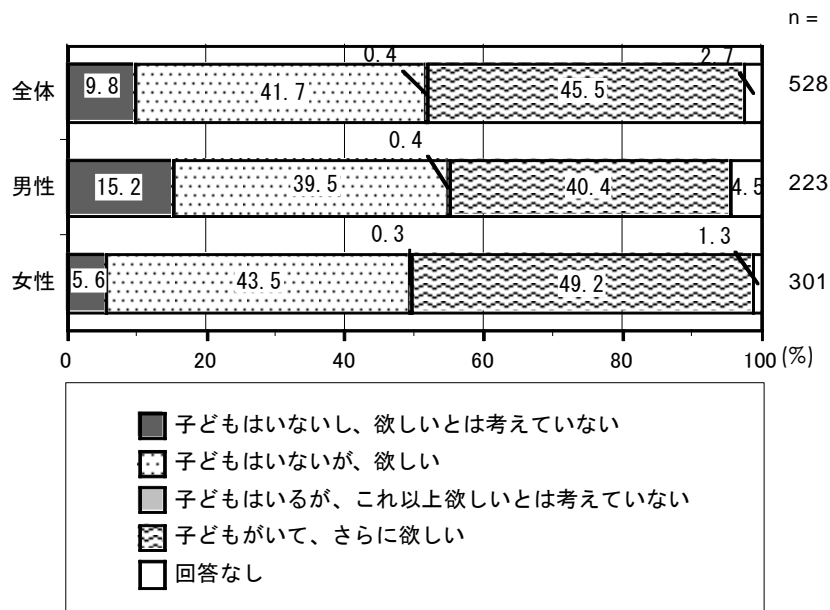
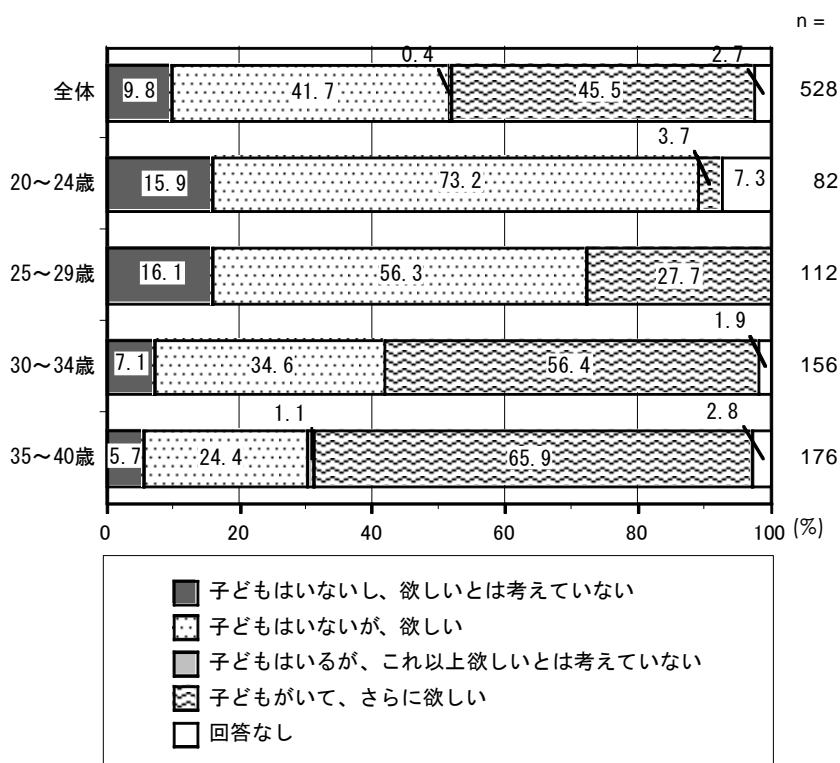


図3-2-8 年齢別「問15・問16カテゴリ統合」



(3) 現在の子ども数の方が少ない理由 (問17)

問17 理想とする子ども数よりも、現在の子ども数が少ないのは、どのような理由からですか。主な理由を3つまで選んで番号に○印をつけてください。

理想とする子ども数よりも、現在の子ども数の方が少ない理由については、「これからまだ産むつもりであるため」が44.5%と最も多く、次いで、「子育てにかかる経済的負担が大きいため」(30.3%)が多くなっています。

図3-3-1 「現在の子ども数が少ない理由」

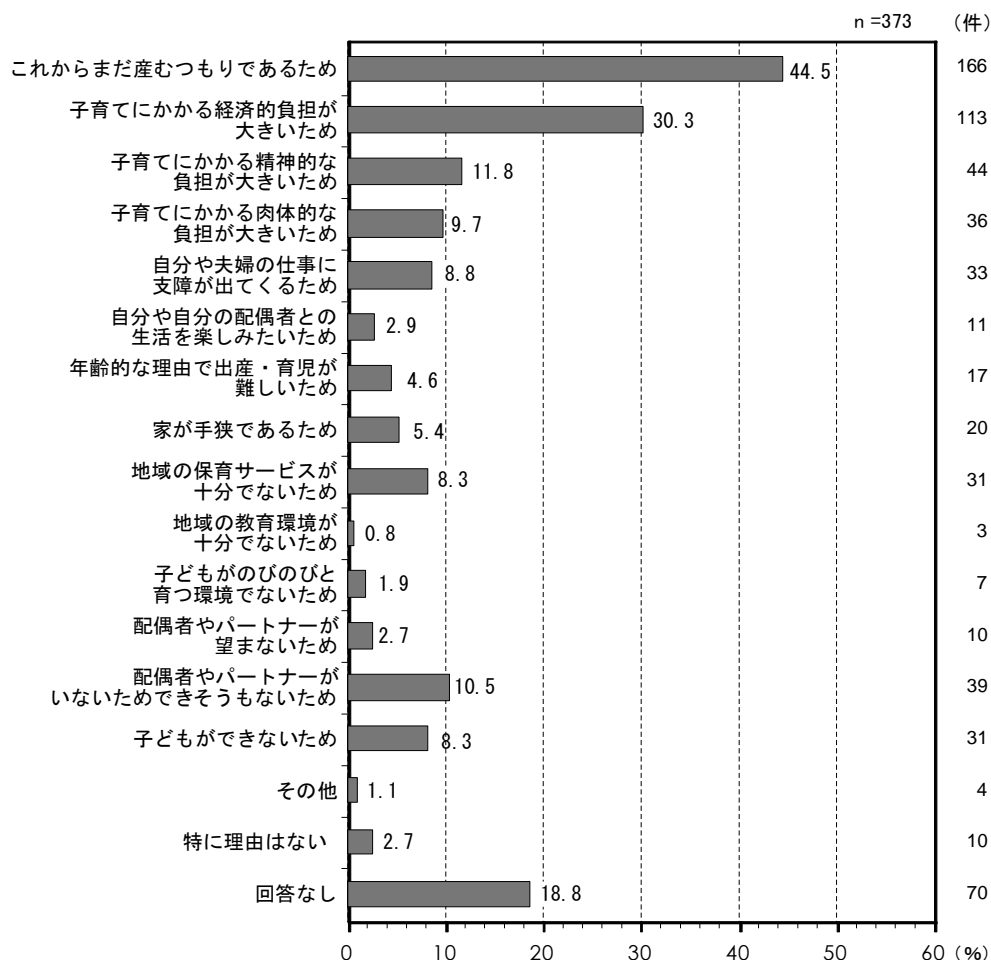


図3-3-2 性別別「現在の子ども数が少ない理由」

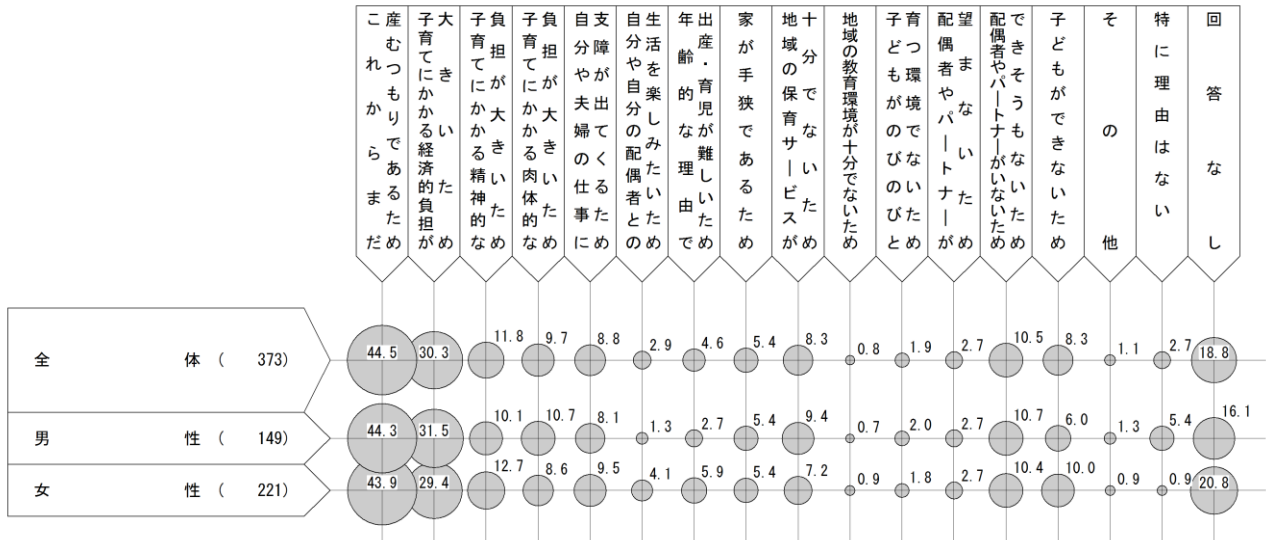
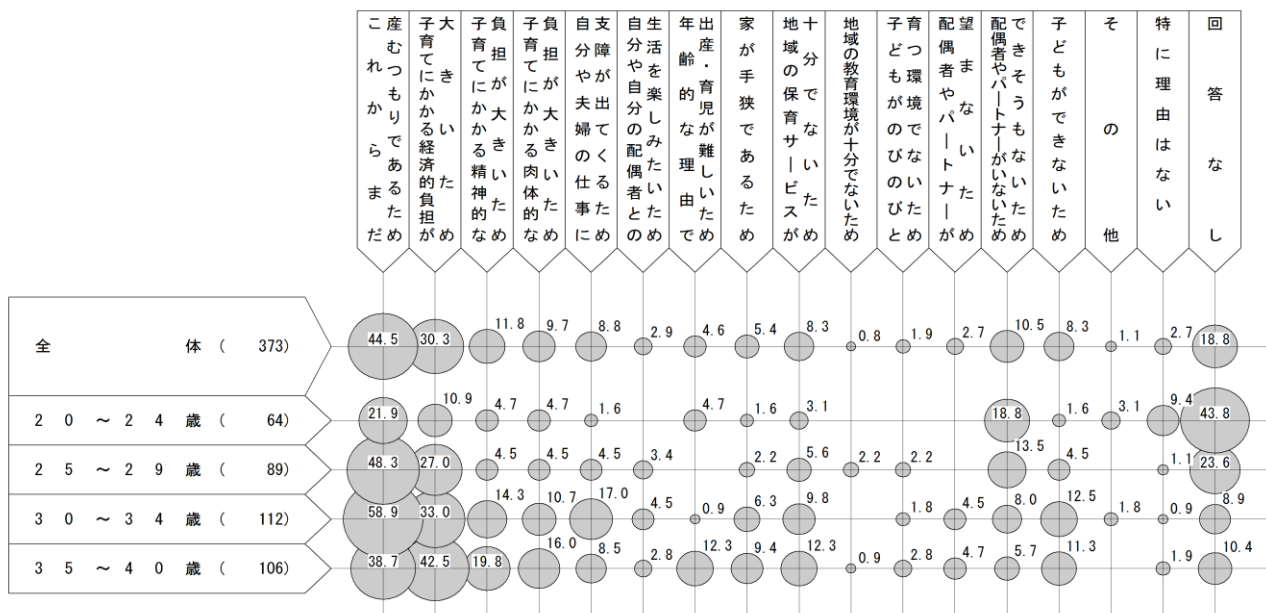
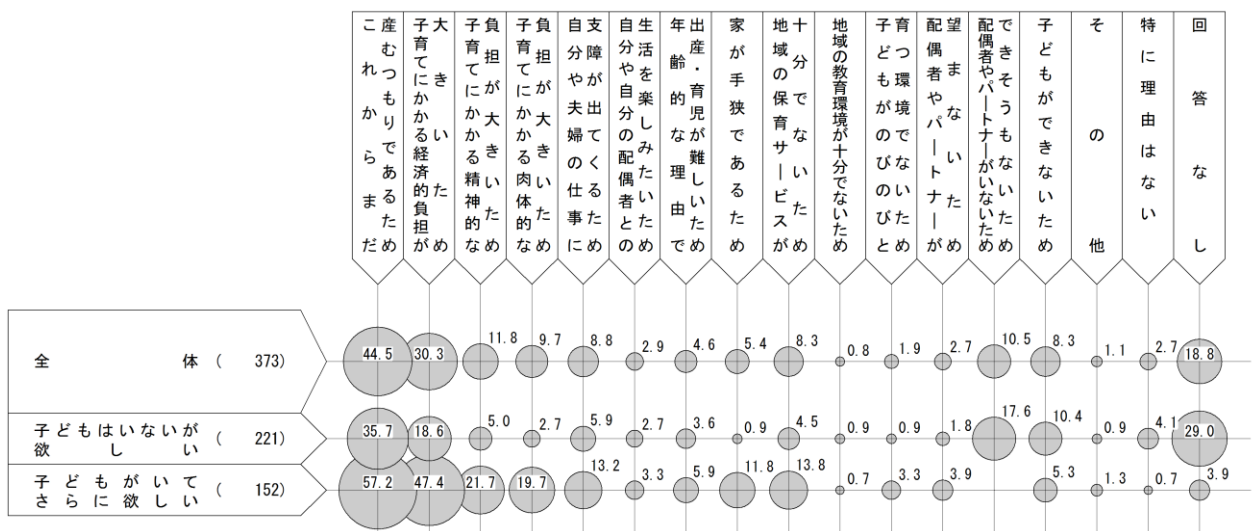


図3-3-3 年齢別「現在の子ども数が少ない理由」



【参考】図3-3-4 子どもの有無別「現在の子ども数が少ない理由」



(4) 子どもを産み育てやすい環境を整えるために力を入れるべき事項 (問18)

問18 あなたは、子どもを産み育てやすい環境を整えるために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまるもの5つまで選んで番号に○印をつけてください。

「安心して妊娠、出産、子育てができる環境の充実」が50.6%と最も多く、次いで、「乳児保育や一時保育、病児保育など多様な保育サービスの充実」(47.0%)が多くなっています。

図3-4-1 「子どもを産み育てやすい環境を整えるために力を入れるべき事項」

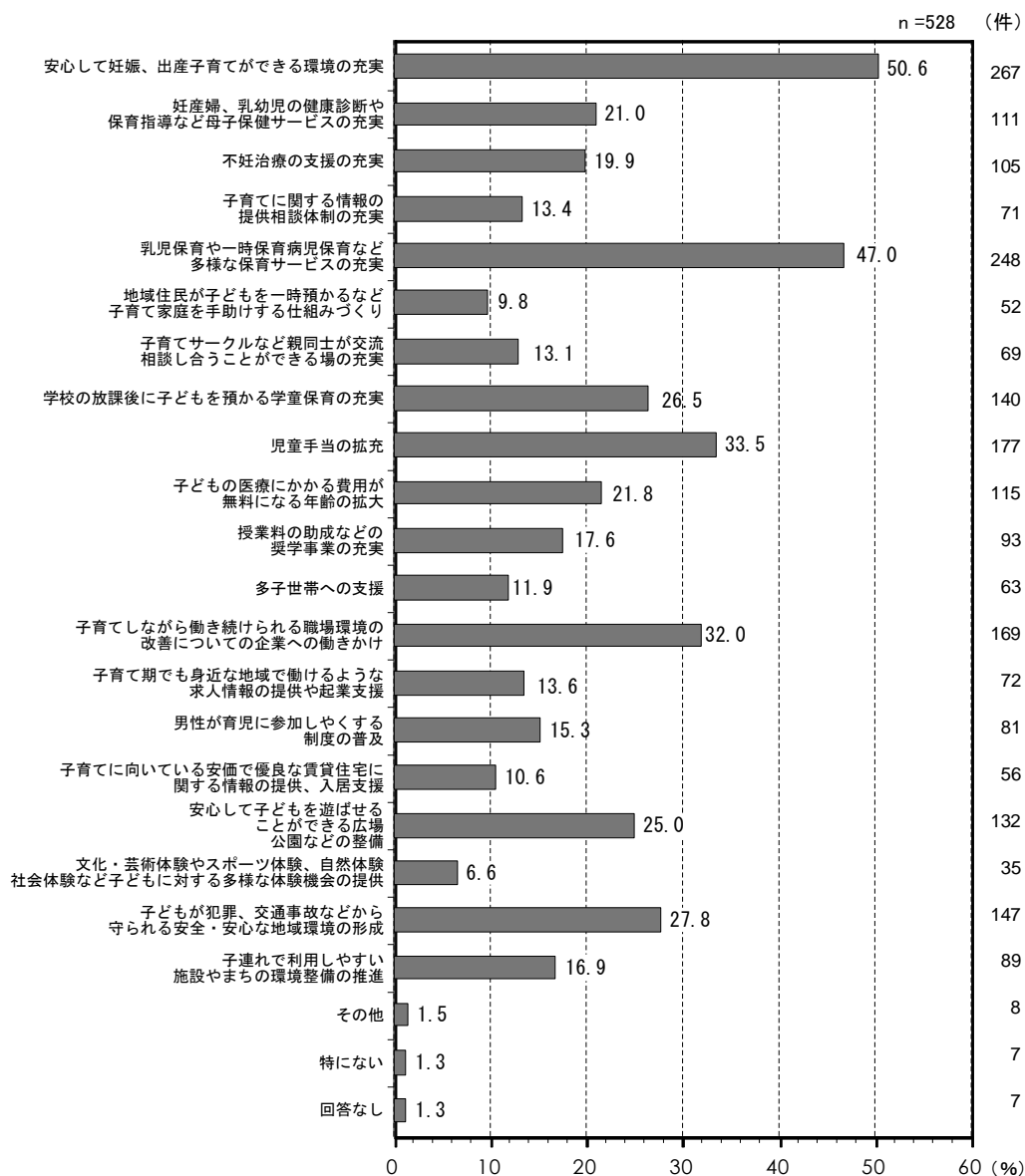


図3-4-2 性別「子どもを産み育てやすい環境を整えるために力を入れるべき事項」

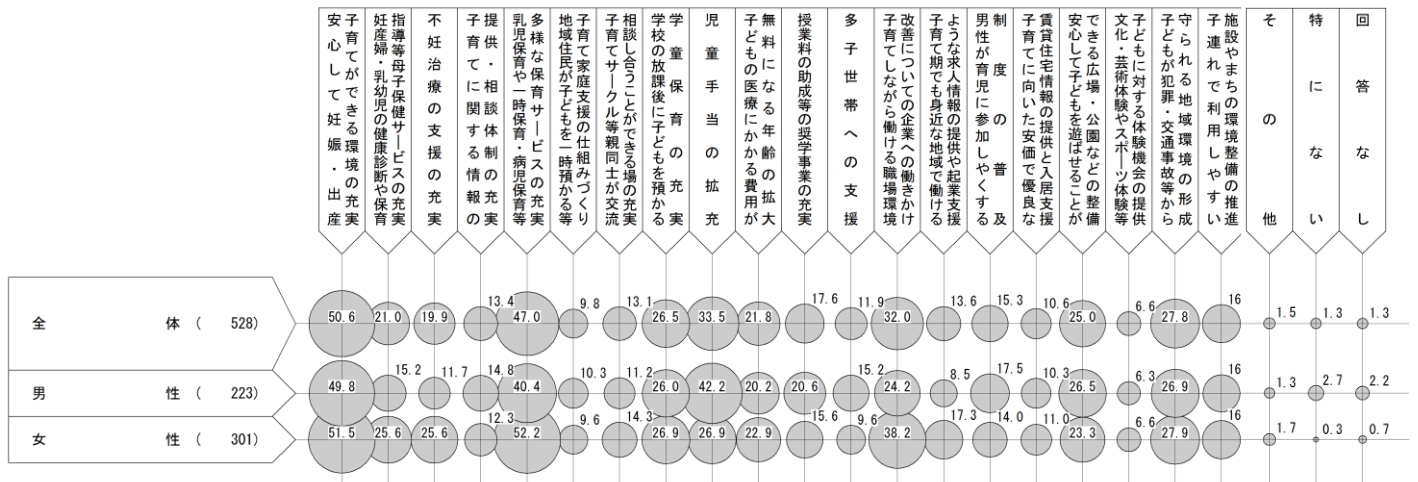
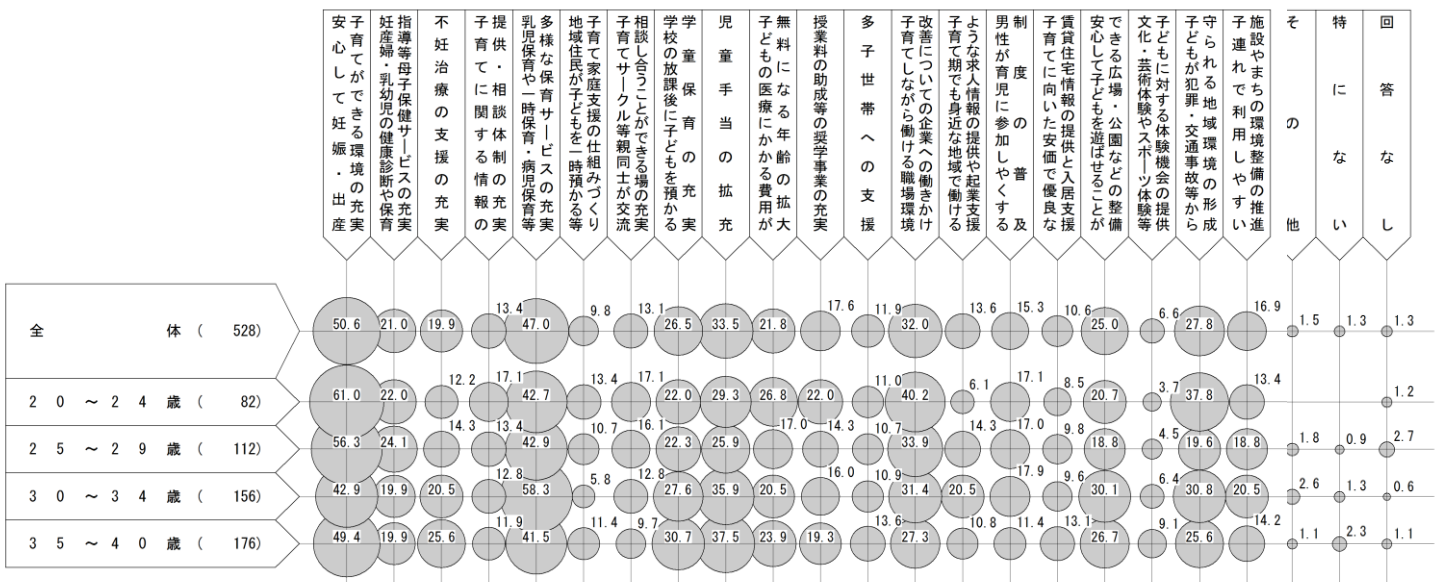


図3-4-3 年齢別「子どもを産み育てやすい環境を整えるために力を入れるべき事項」



(5) 子育てしやすいまちとしての評価 (問19)

問19 総合的にみて岩倉市は、子育てしやすいまちだと思いますか。

子育てしやすいまちであると評価している人が、そう思わない人を29.2ポイント上回っています。

図3-5-1 性別「岩倉市における子育て環境の評価」

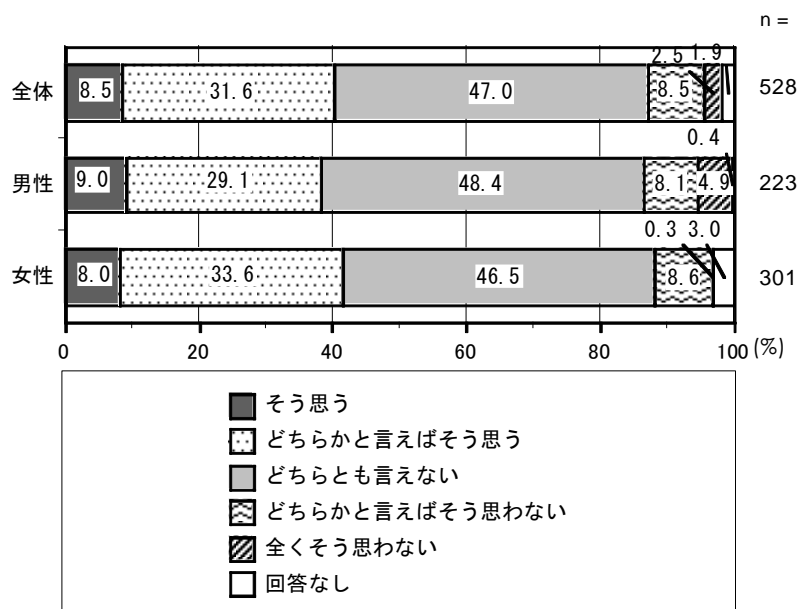


図 3-5-2 年齢別「岩倉市における子育て環境の評価」

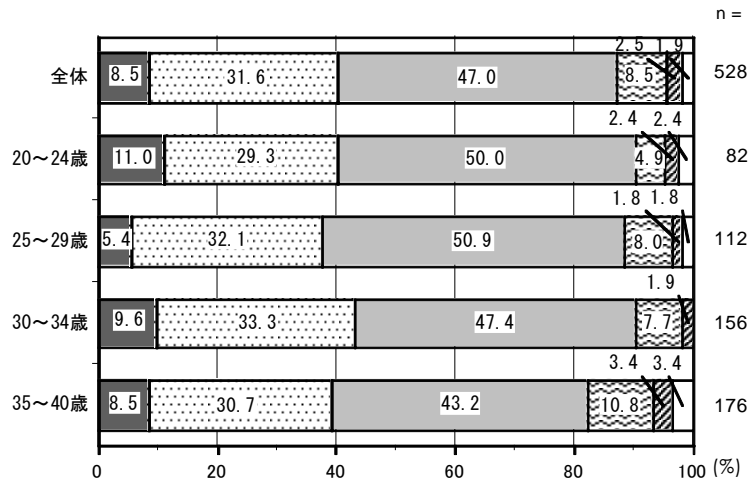
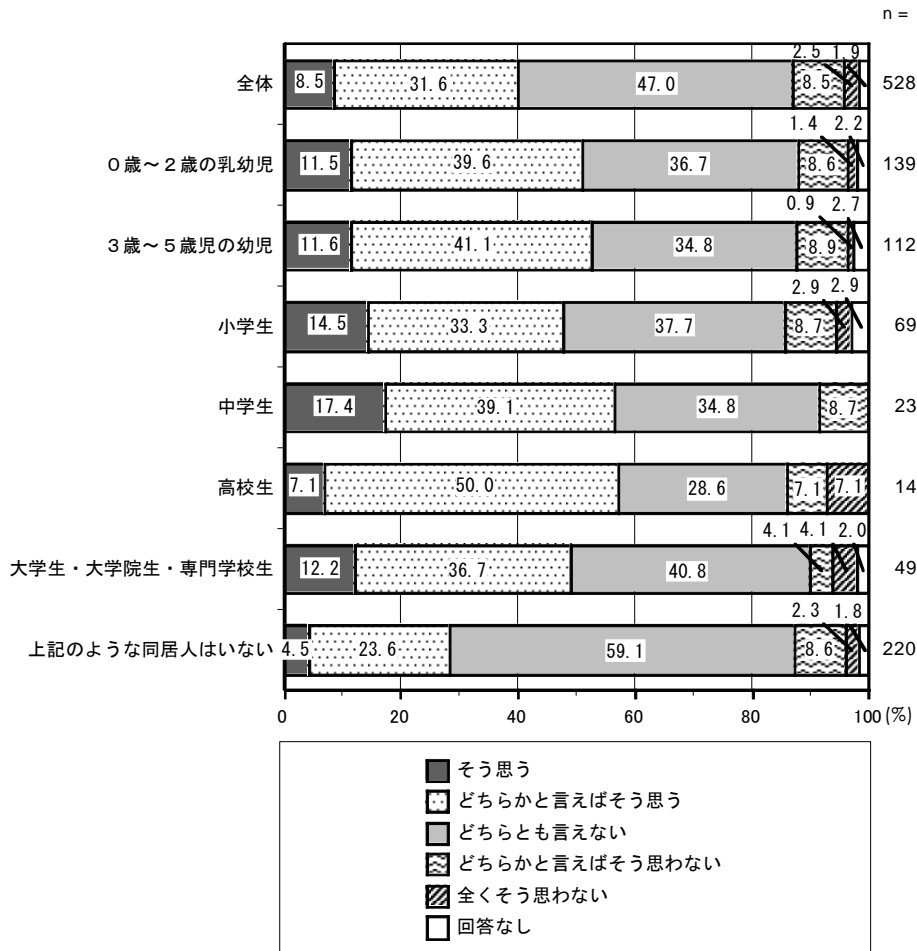


図 3-5-3 同居家族別「岩倉市における子育て環境の評価」



(6) 子育てする上での負担や悩み (問 20)

問 20 子育てする上で、現在、特に負担に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。
あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。

「子育てによる出費がかさむこと」(55.3%)をはじめ、「自分の自由な時間が持てないこと」(38.9%)や「子育てによる身体の疲れが大きいこと」(35.2%)、「今後の子育てや教育に費用を十分かけられそうもないこと」(32.8%)、「子育てによる精神的な疲れが大きいこと」(29.5%)といった、費用面や身体的・精神的・時間的負担に関することが、主な子育てする上の負担や悩みになっています。

図 3-6-1 「子育てする上での負担や悩み」

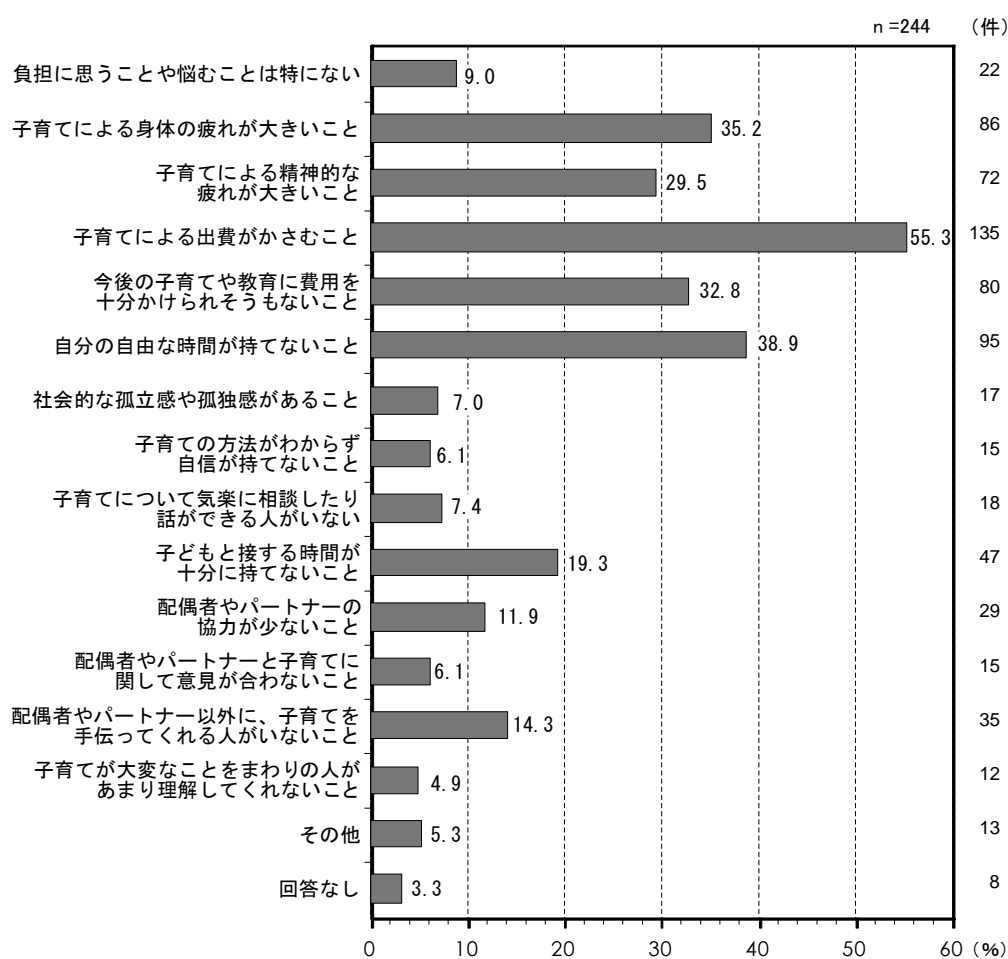


図3-6-2 性別「子育てする上での負担や悩み」

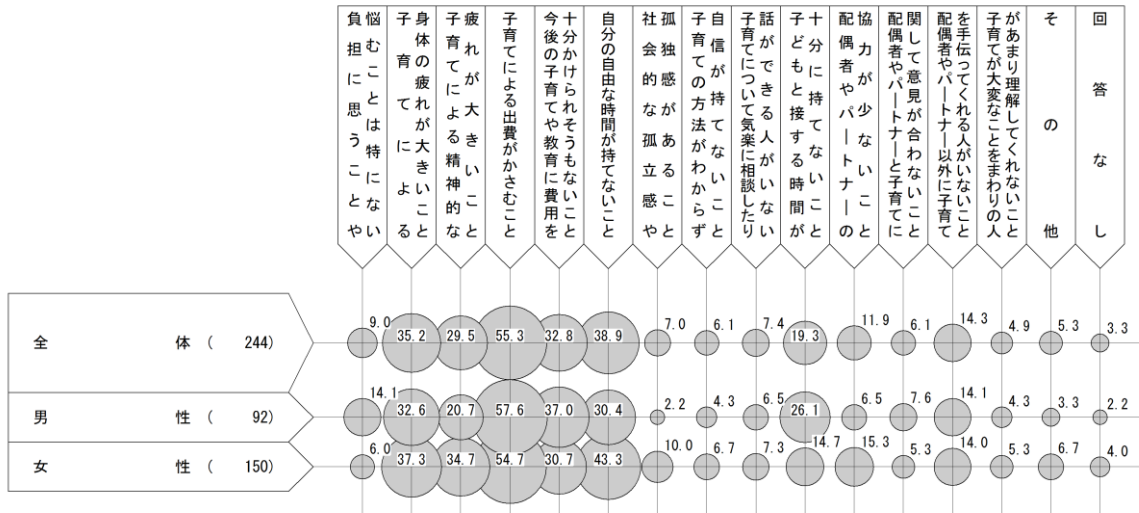
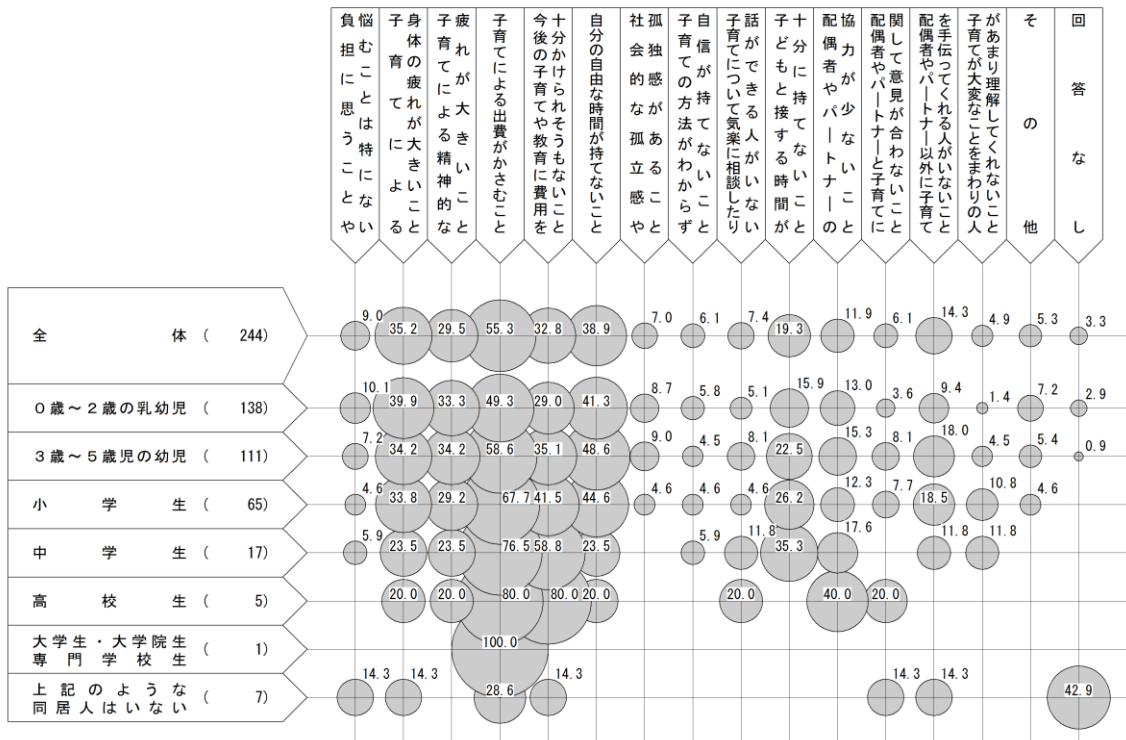


図3-6-3 同居家族別「子育てする上での負担や悩み」

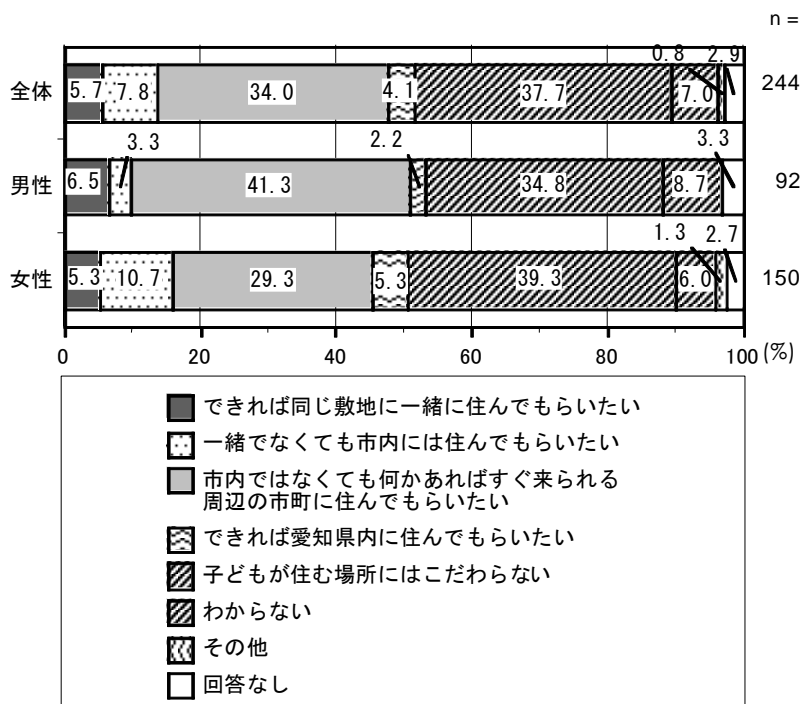


(7) 将来の子どもの居住地 (問 21)

問21 あなたは、将来、あなたの子どもにはどこに住んでももらいたいとお考えですか。

将来の子どもの居住地として希望する場所は、「子どもが住む場所にはこだわらない」が37.7%を占め最も多くなっていますが、「市内ではなくても何かあればすぐ来られる周辺の市町に住んでもらいたい」(34.0%)をはじめ、多くの方が、比較的身近なところに住んでもらいたいという意向を示しています。

図 3-7-1 性別「将来の子どもの居住地」



第4章 仕事について

(1) 現在の仕事を選択した理由 (問22)

問22 現在従事している仕事を選択した主な理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。

現在の仕事を選択した理由については、「希望する職種だから」が34.5%と最も多く、次いで、「自宅から通える職場だから」(29.9%)や「自分の資格や経験が活かせる仕事だから」(25.0%)、「希望する働き方ができる仕事だから」(20.5%)が多くなっています。

図4-1-1 「現在の仕事を選択した理由」

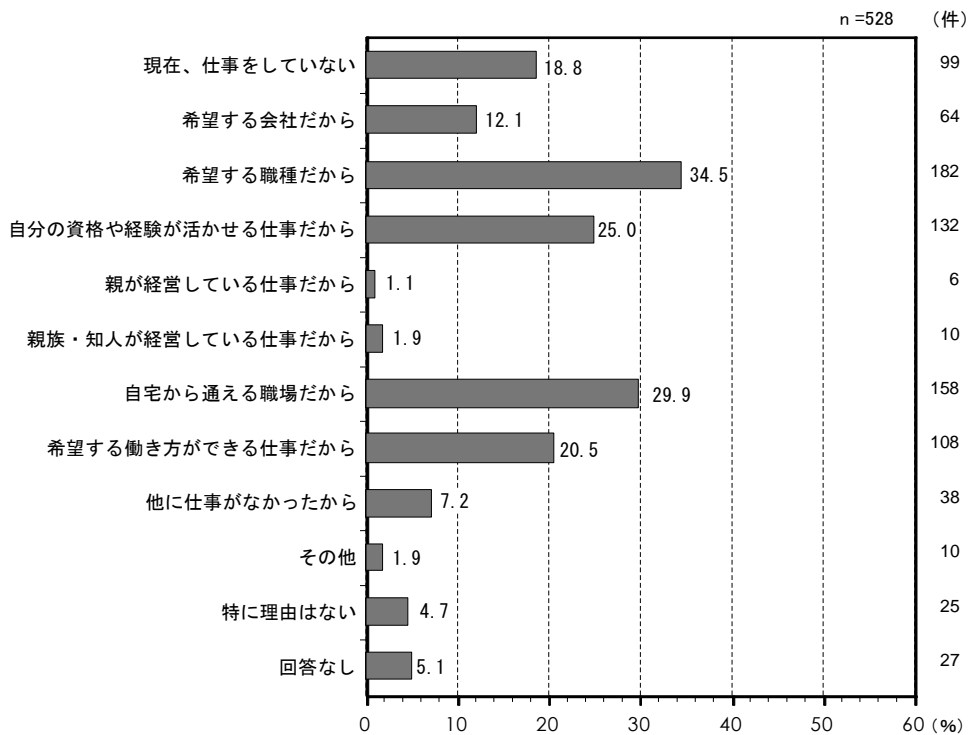


図4-1-2 性別「現在の仕事を選択した理由」

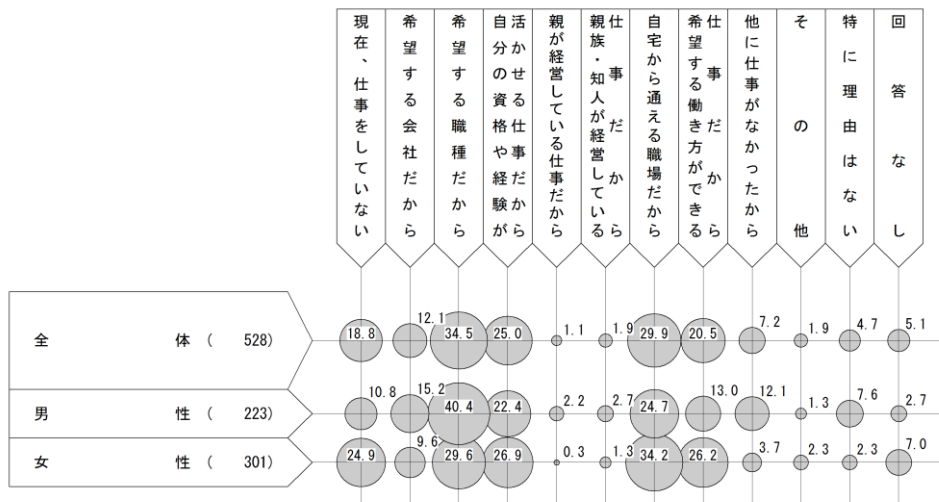
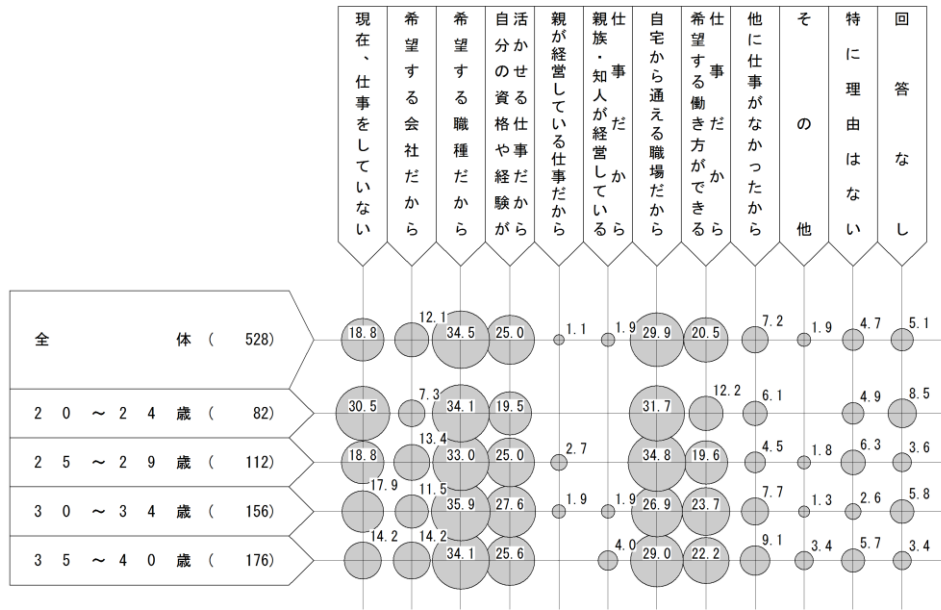


図4-1-3 年齢別「現在の仕事を選択した理由」



(2) 仕事に対する満足度 (問23)

問23 現在の「仕事」について、満足していますか。

現在の仕事に対して、「満足している」(18.2%)と「どちらかと言えば満足している」(37.3%)を合わせた割合は55.5%あり、「不満である」(6.1%)「どちらかと言えば不満である」(10.3%)を合わせた割合(16.4%)を39.1ポイントも上回っています。

図4-2-1 性別「仕事に対する満足度」

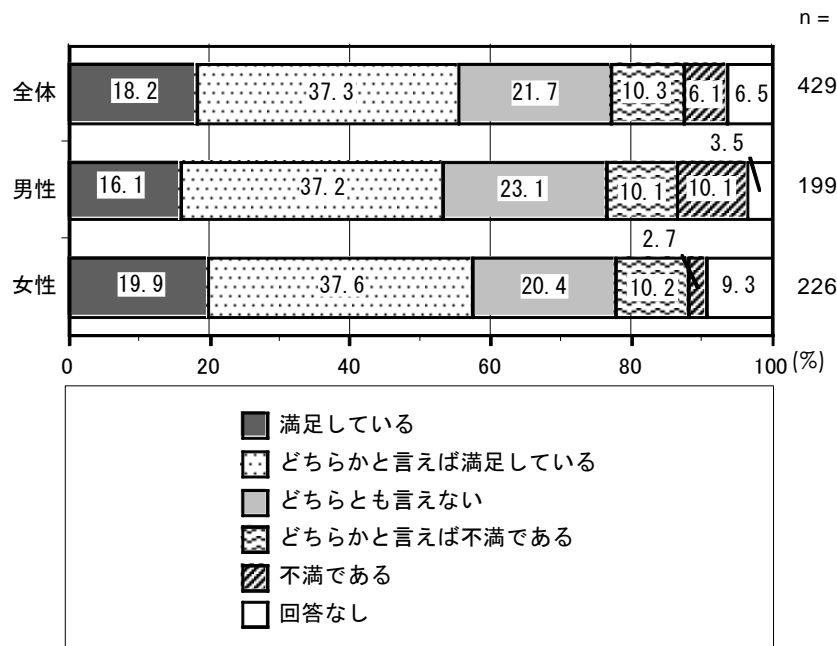


図 4-2-2 年齢別「仕事に対する満足度」

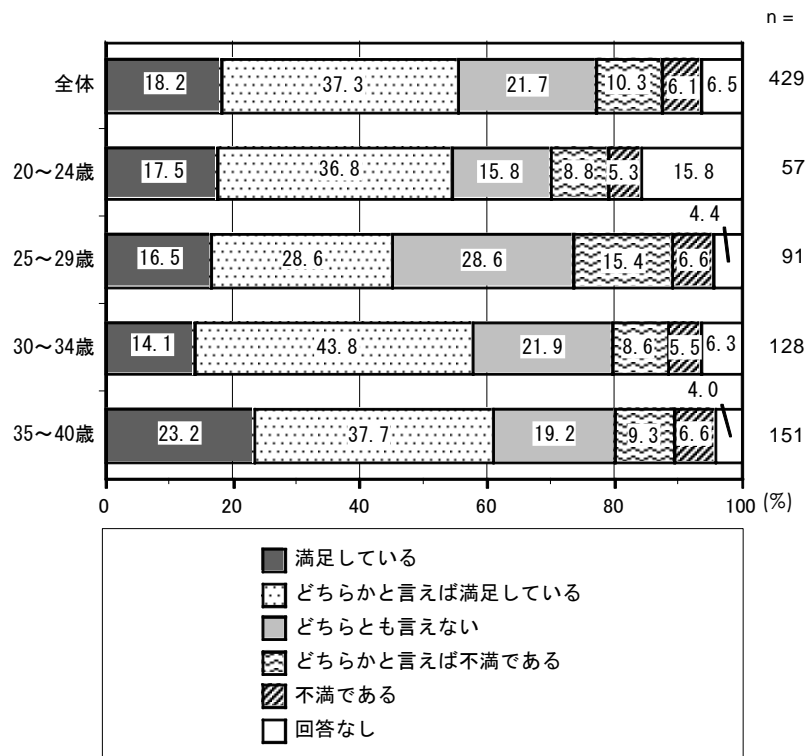
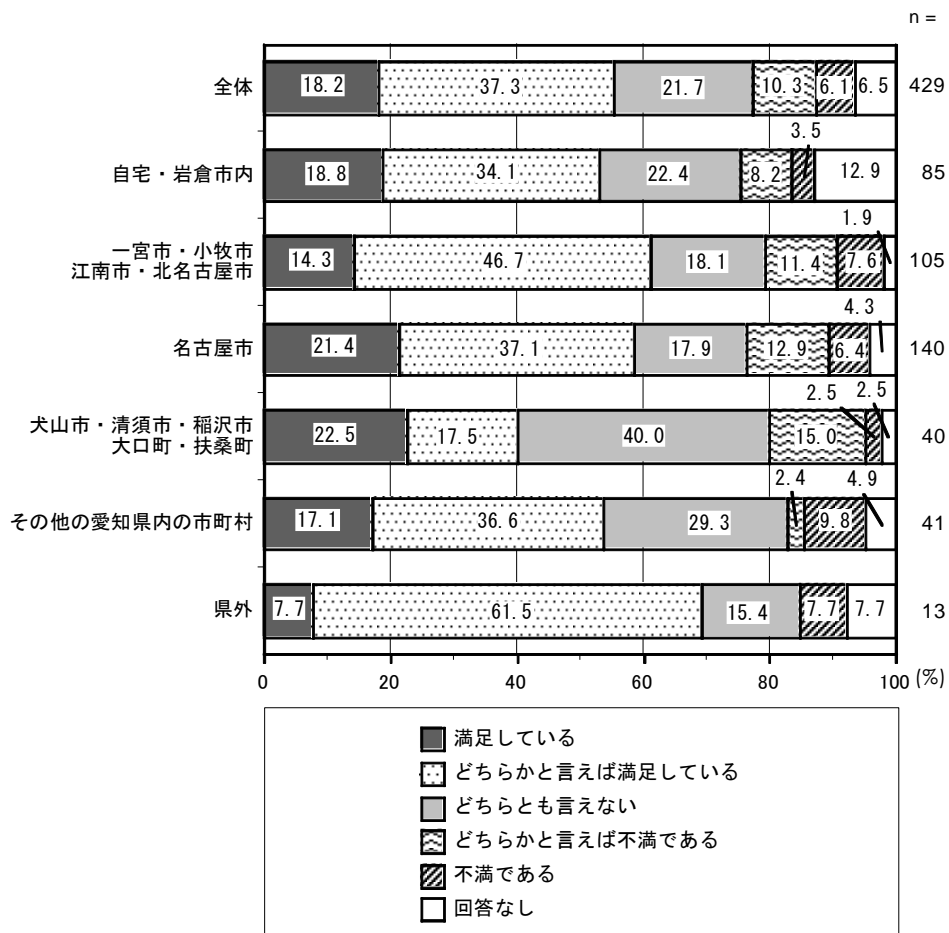


図 4-2-3 勤務地別「仕事に対する満足度」



(3) 仕事に対する満足度の理由 (問24)

問24 問23で回答された現在の仕事に対する満足度(満足や不満)は、主にどのような事項が理由になっていますか。主なものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。

仕事に対する満足度の理由については、「仕事の内容」が40.6%と最も多く、「給料水準」(36.8%)や「職場の雰囲気」(34.0%)が続いて多くなっています。

「満足しているという」人では、特に「仕事の内容」(61.5%)や「職場の雰囲気」(46.2%)、「やりがいや役立ち感」(34.6%)の割合が多くなっています。一方、「不満である」という人では、特に「給料水準」(65.4%)の割合が多くなっています。

図4-3-1 「仕事に対する満足度の理由」

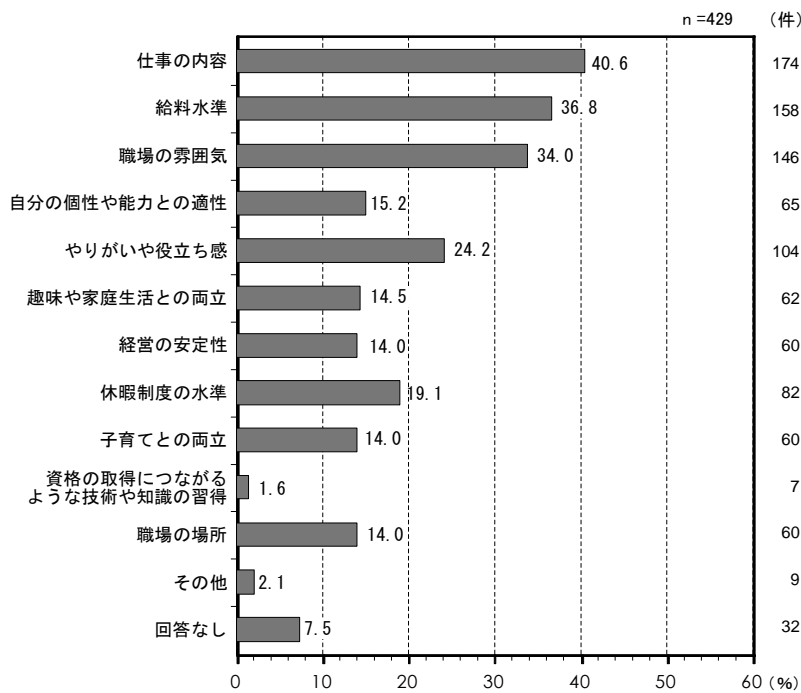
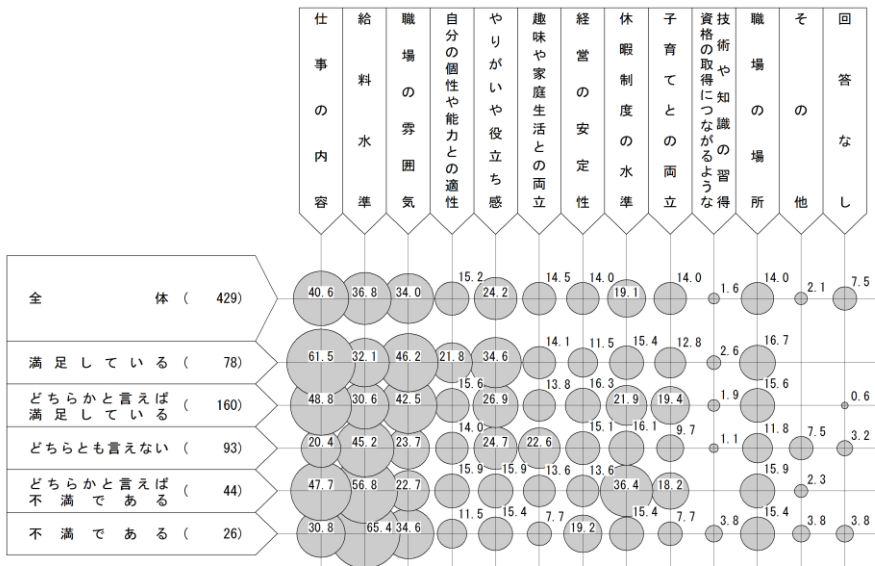


図4-3-2 仕事に対する満足度別「仕事に対する満足度の理由」



(4) 雇用機会等を充実するための取組 (問25)

問25 岩倉市において雇用の機会や仕事の間を充実していくために、どのような取組が必要であると考えますか。あてはまるもの3つまで選んで番号に○印をつけてください。

「企業を誘致し雇用の場の創出を図る」が43.2%と最も多く、次いで、「賃金等の労働条件がもっと良くなるように市内の企業に働きかける」(30.7%)や「就職等に関する情報をより多く提供する」(23.1%)が多くなっています。

図4-4-1 「雇用機会等を充実するための取組み」

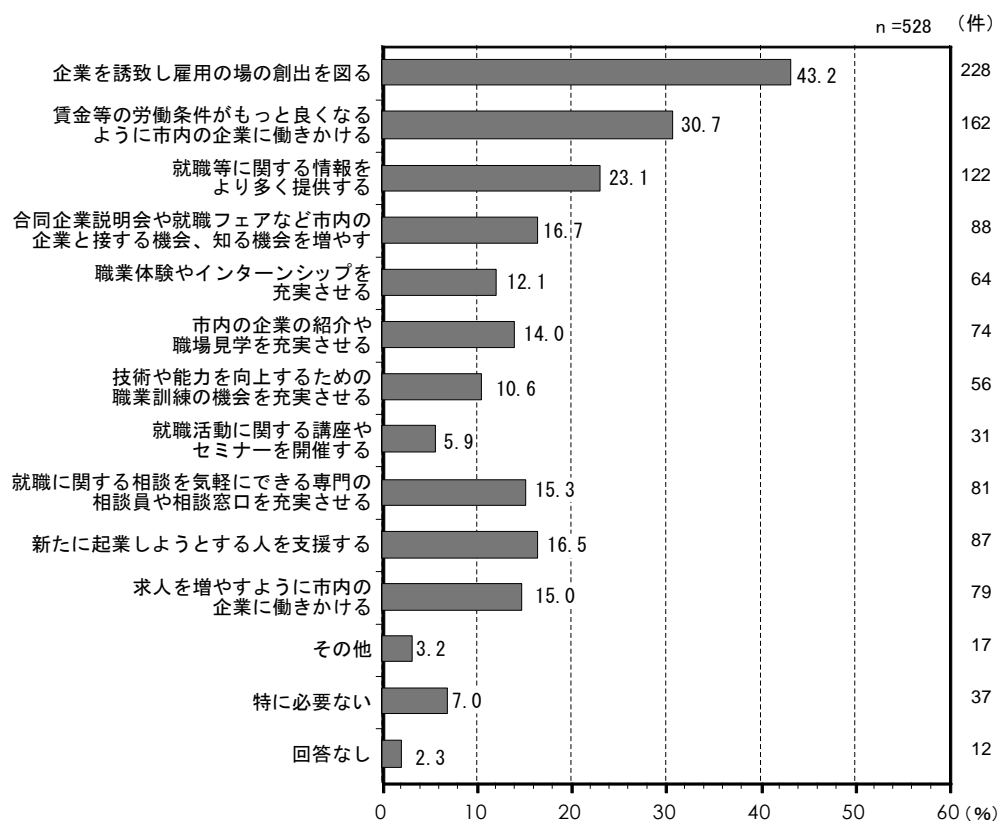


図 4-4-2 性別「雇用機会等を充実するための取組み」

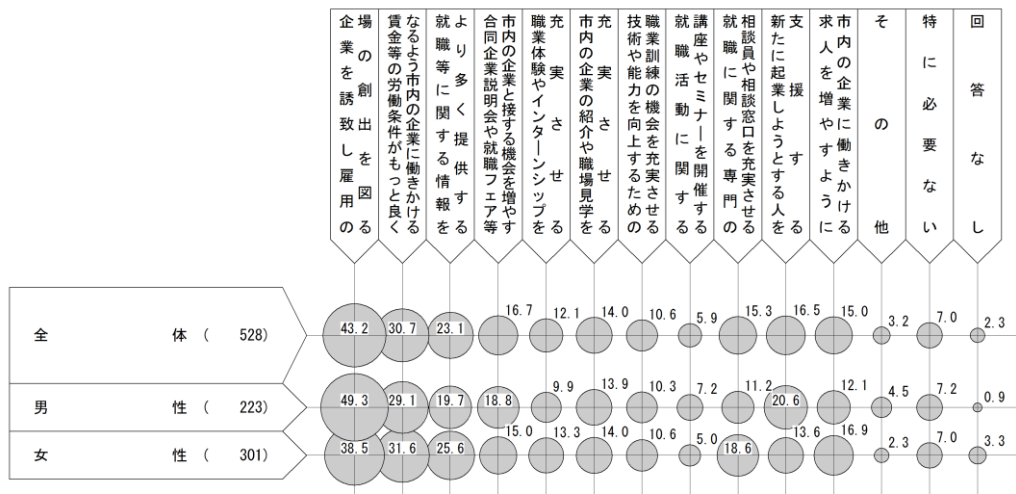
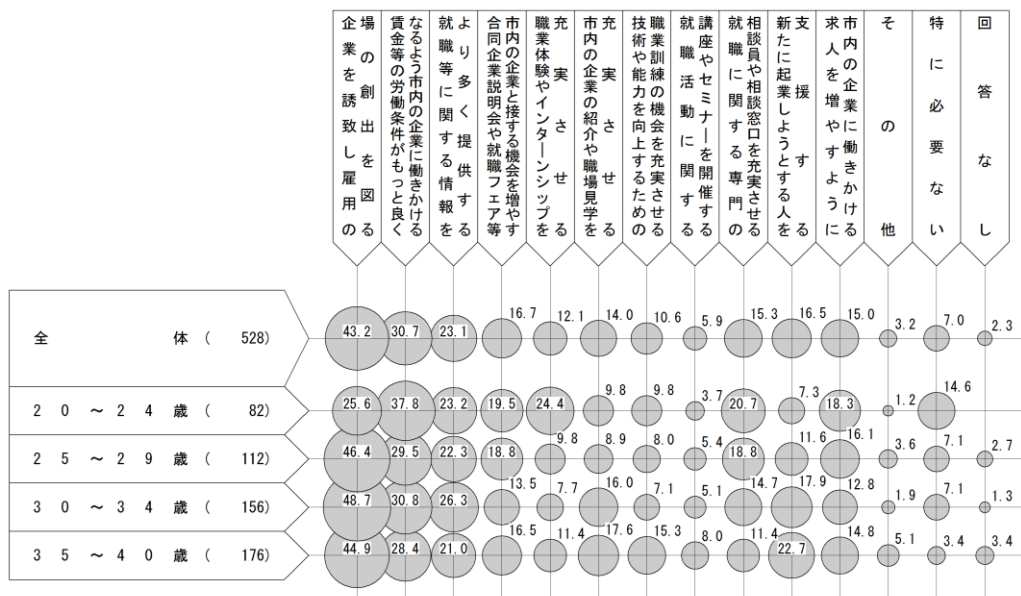


図 4-4-3 年齢別「雇用機会等を充実するための取組み」



第5章 岩倉市の住みやすさや定住意向について

(1) 岩倉市における住みやすさの評価 (問26)

問26 総合的にみて岩倉市は住みよいところだと思いますか。

岩倉市に対して住みやすさを感じている人の割合は77.1%を占めています。

図5-1-1 性別「岩倉市における住みやすさの評価」

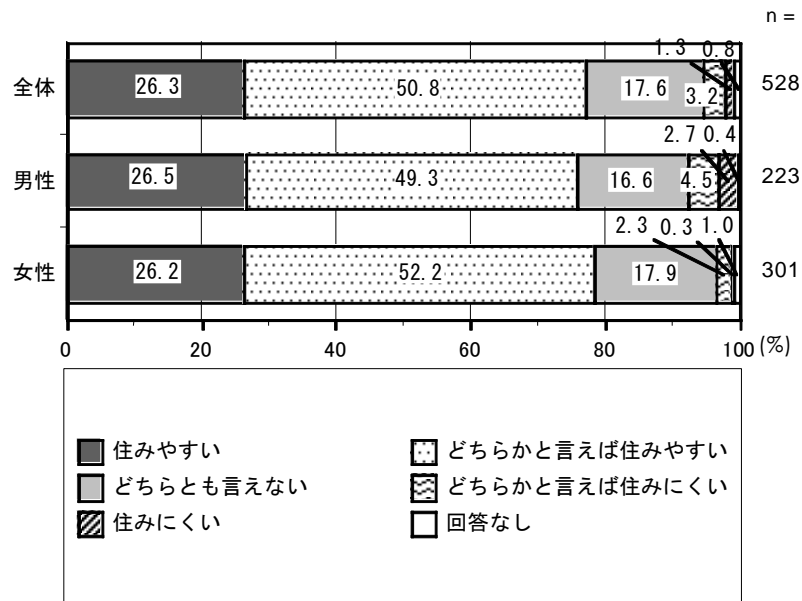
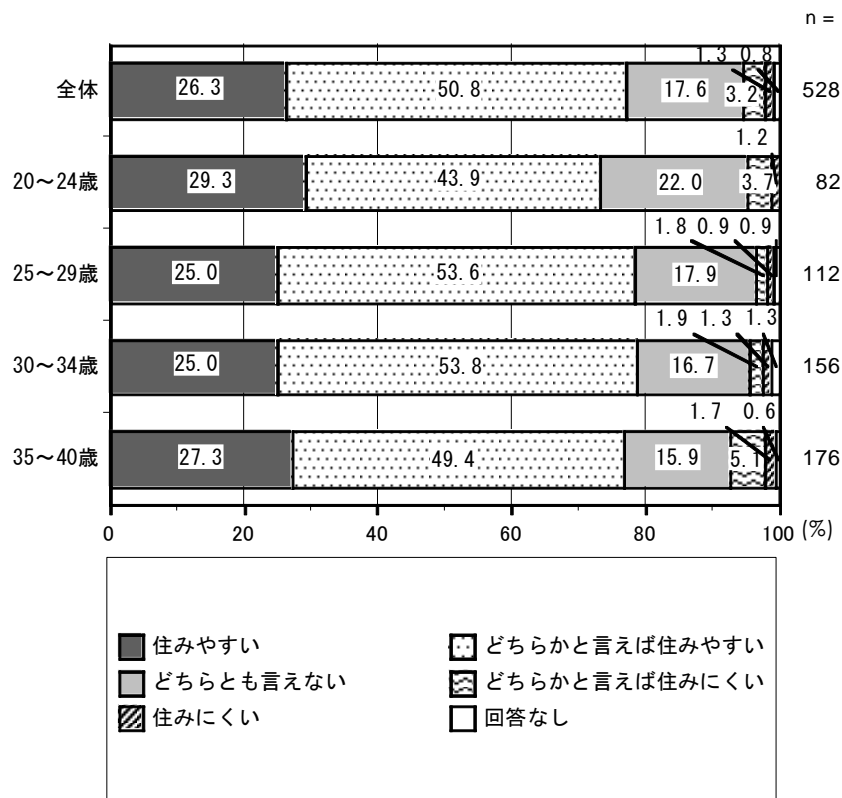


図5-1-2 年齢別「岩倉市における住みやすさの評価」



(2) 岩倉市への定住意向 (問 27)

問 27 あなたはこれからも岩倉市に住み続けたいと思いますか。

岩倉市に対して定住の意向を持つ人は、63.1%を占めています。

図 5-2-1 性別「岩倉市への定住意向」

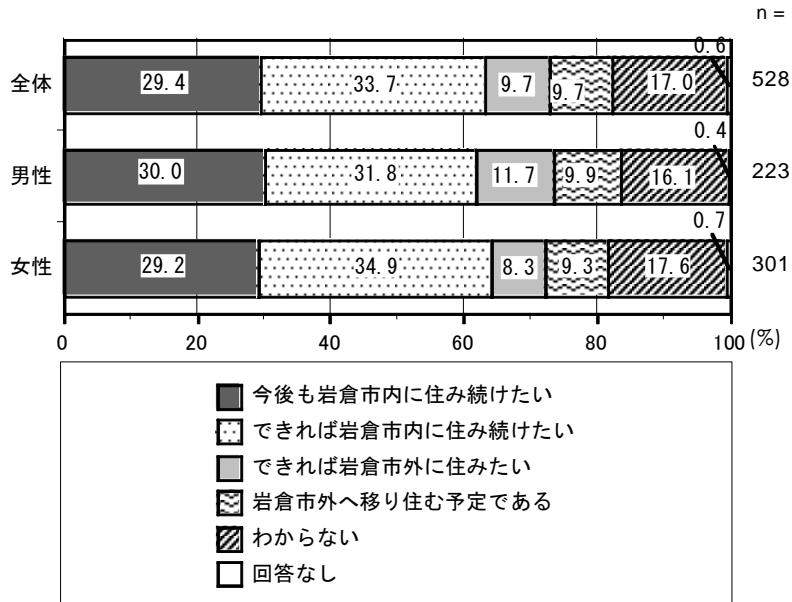
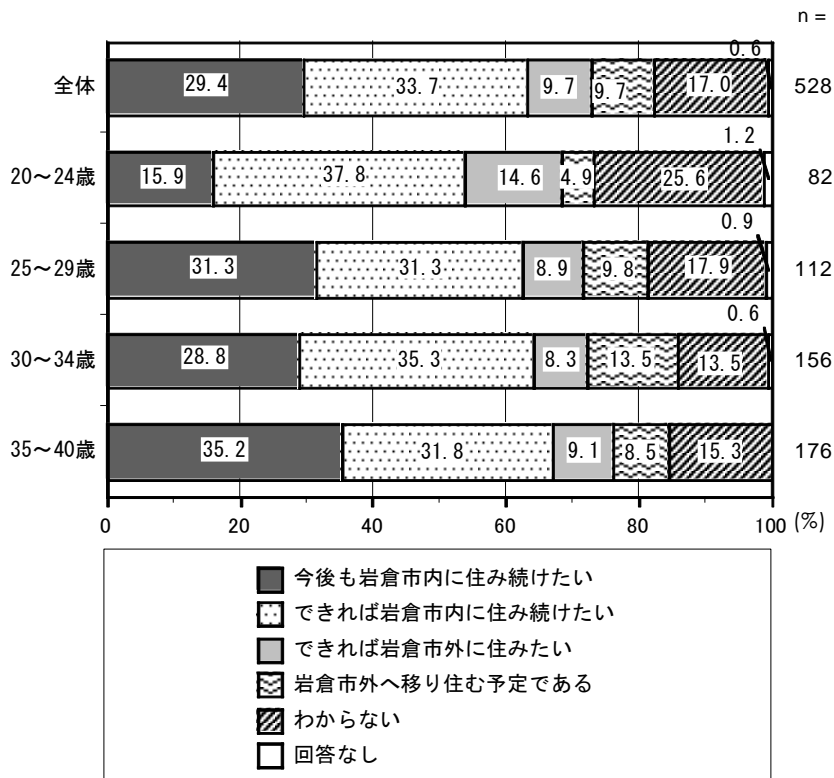


図 5-2-2 年齢別「岩倉市への定住意向」

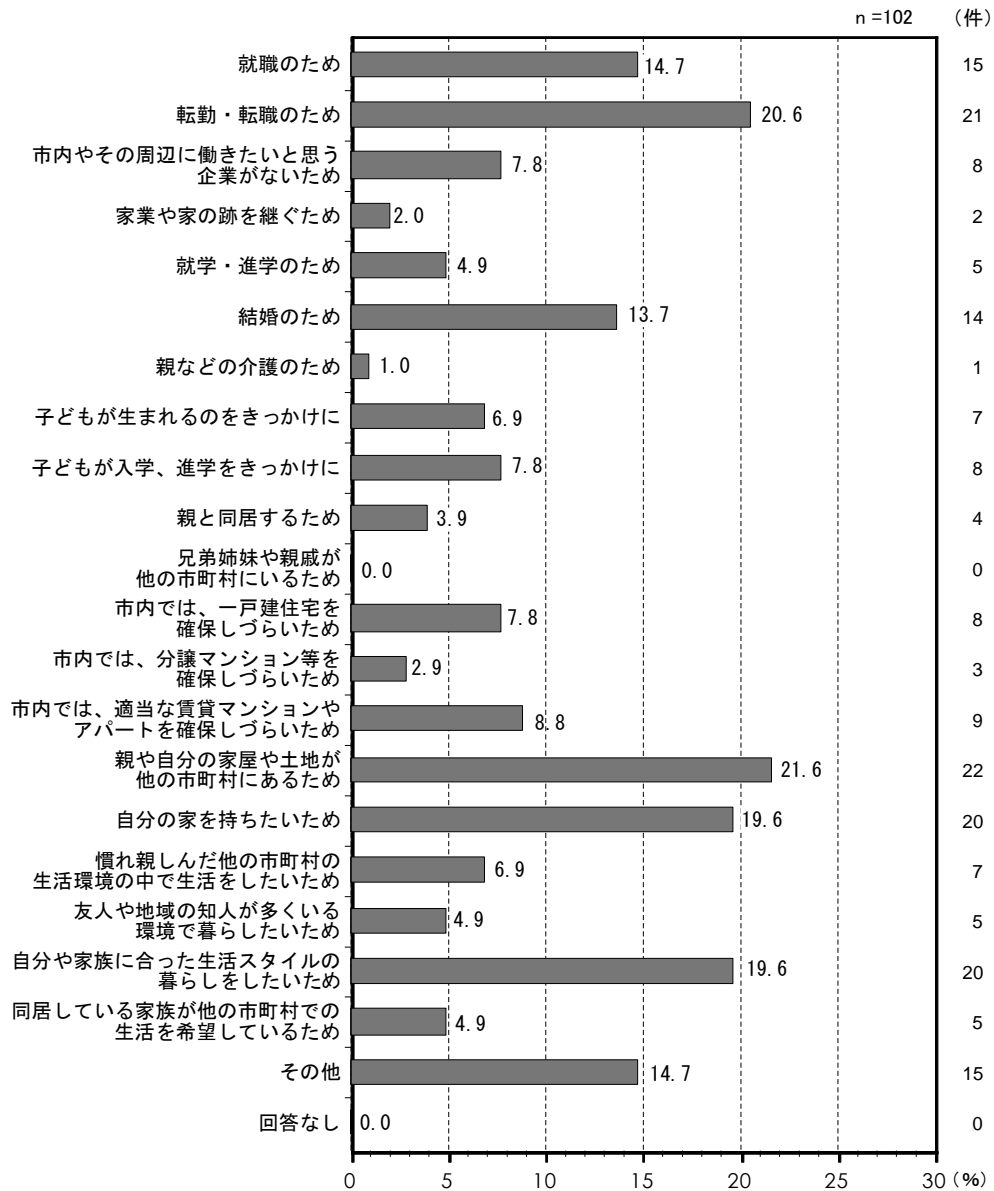


(3) 岩倉市から転出することになった場合の理由 (問 28)

問 28 岩倉市から転出することになる場合、主にどのようなことが理由として考えられますか。主なものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。

岩倉市から転出することになった場合の理由については、「親や自分の家屋や土地が他の市町村にあるため」が 21.6%と最も多く、これほぼ並んで、「転勤・転職のため」(20.6%) や「自分の家を持ちたいため」、「自分や家族に合った生活スタイルの暮らしをしたいため」(19.6%) が多くなっています。

図 5-3-1 「岩倉市から転出する場合の理由」



(4) 若い世代の移住・定住促進のために力を入れるべき事項 (問29)

問29 あなたは、岩倉市に多くの若い世代の人が移り住み、定住するようにするために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。

若い世代を岩倉市内へ移住・定住させるために力を入れるべき事項については、「子育て支援・子育て環境の充実」が42.8%と最も多く、ほぼこれに並んで、「買い物等の利便性の向上」(37.5%)が多くなっています。

図5-4-1 「若い世代の移住・定住促進のために力を入れるべき事項」

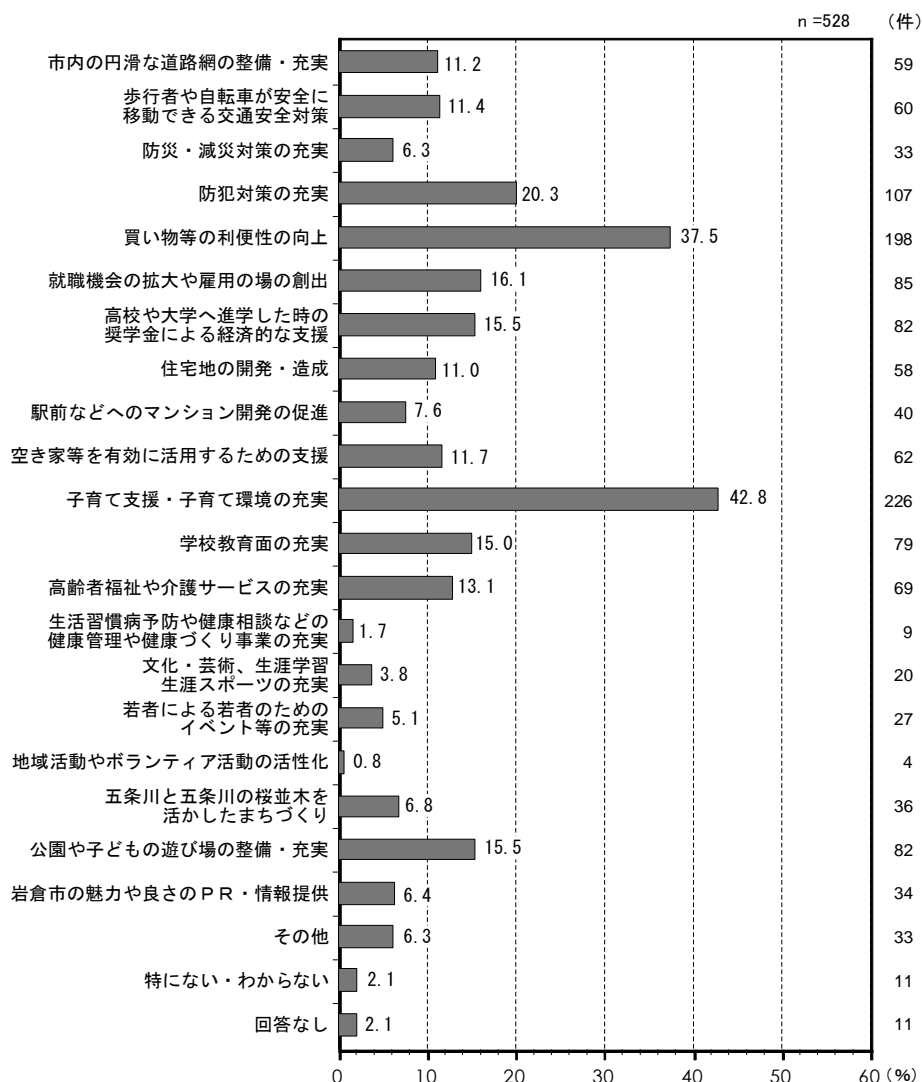


図5-4-2 同居家族別「若い世代の転入、定住促進のための取組み」

